OLYMPUS®

ラジオサーバー ポケット

PJ-10

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

・本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
・本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
・本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

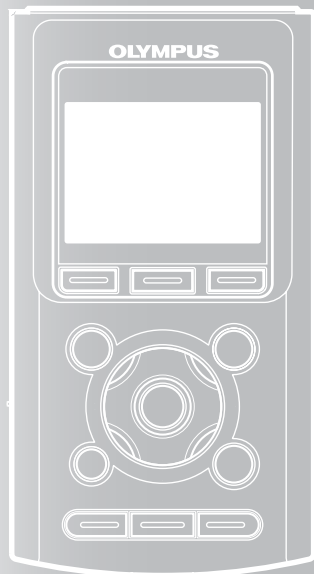
電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす恐れがあります。取扱説明書にしたがって正しくご使用ください。
・航空機内や病院など使用に制限のある場所では、使用をお避けになるかその場所の指示にしたがってください。
・本製品の接続の際、当製品指定のケーブルを使用しない場合、VCCI 基準の限界値を超える恐れがあります。必ず、指定のケーブルをご使用ください。

商標および登録商標について

・IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
・Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
・Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
・MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX

地上波アナログ放送について

従来のテレビ放送は 2011 年 7 月 24 日、地上波デジタル方式に移行する予定です。本機はアナログ式チューナーのため、移行が実施されたあとは、テレビの音声部分を受信できません。あらかじめご了承ください。

目次

はじめに

あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためにお読みください。

1　お使いいただく前に

製品に関する基礎的な情報をまとめています。

製品を使う前の準備をしましょう。

ファイル管理をする際にお役だてください。

2　基本的な機能を使う

ラジオやテレビを聞いてみましょう。

いろんな音源を録音してみましょう。

再生してみましょう。

ファイルを操作してみましょう。

3　予約機能を使う

便利な予約機能を使ってみましょう。

4　設定機能を使う

設定を切り替えることで、
より便利にご使用いただけます。

5　パソコンで使う

パソコンとの連携操作ができます。

6　資料

お困りのことや、製品をもっと知りたい場合にお役だてください。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

・安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
・表示の意味は、次のようになっています。

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

 注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

使用上のご注意

・直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
・湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
・水気がついたら､直に乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
・清掃する場合、アルコールやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
・テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
・砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障が生じる恐れがあります。
・強い振動やショックを与えないでください。
・水気の多い場所で使用しないでください。
・磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じる恐れがあります。

受信に関する注意事項：

・ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。受信状態が良好でない場合、窓際に移動したり携帯電話、テレビや蛍光灯などの電化製品から離れて使用してください。また、向きにより受信状態が改善されることがあります。

データ消失に関する注意事項：

・メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消える恐れがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
・本製品は故障､当社指定外の第三者による修理､その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

録音したファイルに関する注意事項：

・本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

電池について

⚠ 危険

火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・ケガの原因となります。

⚠ 警告

直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない場合、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

電池の液が目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらず、直ちに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合、直ちに医師に相談してください。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。

電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

火気のある場所に電池を置かないでください。

⚠ 注意

充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。

充電池は、同時に充電した充電池をご使用ください。

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

AC アダプタについて

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

プラグ先端の ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。
火災や火傷、感電の原因となります。

落下や損傷により内部が露出したら、
① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、火傷、ケガの恐れがあります。
② 感電 、火傷 、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠ 注意

濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
感電の原因となります。

表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。

電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。

電源プラグのコンセントへの差し込みが不完全なまま使用しないでください。

使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを傷つけないでください。
- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。
- 火災や感電の原因となります。

本機について

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児 、子供の近くで使用する場合、細心の注意を払い不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができません。また、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば :
– 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
– 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用はお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

⚠ 注意

操作のまえから、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

主な特長

- **ラジオチューナーを搭載。**
AM ／ FM ラジオやテレビ番組を受信、録音できます (☞ P.28)。
ラジオとしてもご使用いただける他、
IC レコーダーやミュージックプレイヤーとしていつでもお楽しみいただけます (☞ P.31、P.36、P.86)。
- **便利な予約機能を搭載。**
予約録音：
日付・時刻での録音や曜日を指定しての繰り返し予約ができます (☞ P.48、P.54)。
目覚まし機能：
設定した時間に合わせてお好きな放送番組や音楽でお目覚めできます (☞ P.56)。
おやすみタイマー：
設定した時間に合わせて電源が切れます (☞ P.62)。
- **便利なファイル検索機能を搭載。**
ファイルをさまざまな方法で検索できます (☞ P.41)。
- **テレビ受信用アンテナが接続可能。**
アンテナステーションを同梱。AM ループアンテナや FM ケーブルアンテナの他、
テレビ受信用アンテナをご使用いただけます (☞ P.17、P.18)。
- **放送局の登録で選局が簡単。**
AM、FM ラジオは地域を指定して
放送局を登録できます (☞ P.22、P.67)。
- **MP3、WMA 形式に対応。**
MP3 (MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3)、WMA (Windows Media Audio) 形式に対応しており、ファイルを高圧縮で保存できるので長時間録音も可能です。ご使用のパソコンの環境やソフトウェアに合わせて、ファイル形式をお選びください。外部機器を接続すればアナログ音声入力信号も録音できます (☞ P.35)。
- **便利な録音機能を搭載。**
音声起動録音 (VCVA)：
音声に反応して自動的に録音の開始・停止ができます (☞ P.69、P.71)。
マイク感度の切り替え：
録音状況に合わせてマイク感度の切り替えができます (☞ P.69、P.71)。
録音自動終了：
指定した時間で録音が終了します (☞ P.34)。
- **語学学習などで便利な再生機能を搭載。**
インデックスマーク：
呼び出し位置を記憶させると、いつでも再生の開始位置を探せます (☞ P.39)。
早聞き・遅聞き再生：
放送番組や会議などの内容を早聞きで確認したり、聞き取りにくいところを遅聞きで再生できます (☞ P.73、P.74)。
少し前再生：
再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生できる機能です。重要なセンテンスや短いフレーズを繰り返し確認したい場合に便利です (☞ P.73、P.75)。
- **USB2.0 に対応。**
パソコンの外部メモリとして、データを高速で転送できます (☞ P.90、P.103)。

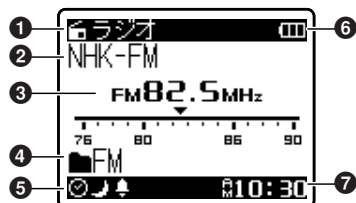
各部のなまえ

① **イヤホン**ジャック
② **マイク**ジャック
③ 表示画面（液晶パネル）
④ **予約**ボタン
⑤ **リスト**ボタン
⑥ **電源／ホールド**スイッチ
⑦ **モード**ボタン
⑧ 録音表示ランプ
⑨ USB 端子
⑩ **+**ボタン
⑪ **録音（●）**ボタン
⑫ **▶▶I** ボタン
⑬ **設定** ボタン
⑭ **インデックス**ボタン
⑮ **A-B** ボタン
⑯ **戻る**ボタン
⑰ **消去** 皿（●）ボタン
⑱ **−**ボタン
⑲ **I◀◀** ボタン
⑳ **停止（■）**ボタン
㉑ OK ▶ ボタン（確定／再生）
㉒ 電池カバー
㉓ 内蔵スピーカ
㉔ ストラップ取り付け部
㉕ 内蔵ステレオマイク（L）
㉖ 内蔵ステレオマイク（R）
㉗ アンテナステーション端子

表示画面（液晶パネル）

ラジオ・テレビモード受信表示画面

AMラジオ受信時：

FMラジオ受信時：

テレビ音声受信時：

❶ モード表示
❷ 放送局名
❸ 受信バンド表示
　ラジオ受信時：周波数表示
　テレビ受信時：テレビチャンネル表示
❹ 保存先フォルダ名
❺ 予約機能表示
　[⏲]：予約録音表示
　[🔔]：目覚まし表示
　[🌙]：おやすみタイマー表示
❻ 電池表示
❼ 時刻表示

プレイヤーモードファイル表示画面

録音時：

❶ モード表示
❷ マイク感度表示
　VCVA 表示
❸ 録音状態表示
❹ 録音レベルメータ表示
❺ 保存先フォルダ名
❻ 予約機能表示
　[⏲]：予約録音表示
　[🔔]：目覚まし表示
　[🌙]：おやすみタイマー表示
❼ 電池表示
❽ 録音経過時間
❾ メモリ残量バー表示
❿ 録音可能な残り時間
⓫ 録音ビットレート表示
⓬ 時刻表示

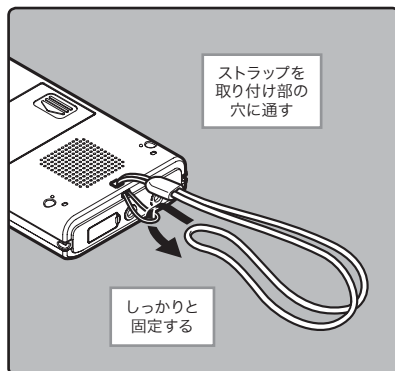
再生時、停止時：

❶ **モード表示**
❷ **[🔑]：消去ロック表示**
[F]：早聞き表示
[S]：遅聞き表示
[A▸B]：部分リピート表示
❸ **再生位置バー表示**
❹ **再生経過時間**
❺ **フォルダ名**
❻ **予約機能表示**
[⏲]：予約録音表示
[🔔]：目覚まし表示
[🌙]：おやすみタイマー表示
❼ **電池表示**
❽ **[RANDOM]：ランダム表示**

再生モード表示
[↻1]：ファイルリピート再生表示
[Fld]：フォルダ再生表示
[↻Fld]：フォルダリピート再生表示

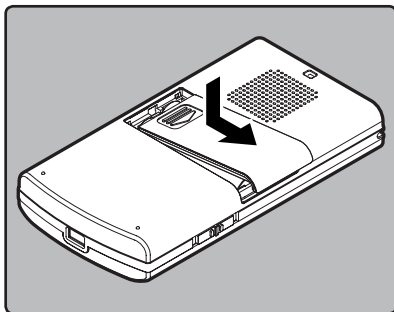
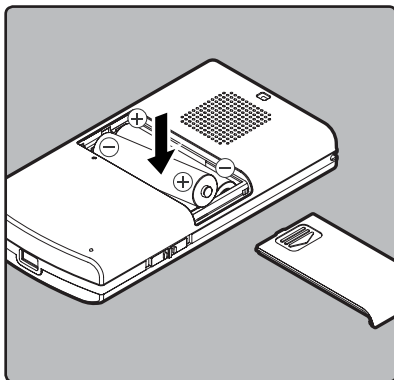
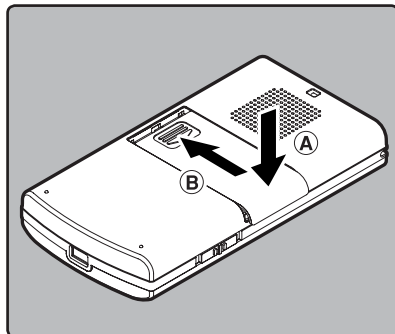
❾ **ファイル名・タイトル名**
❿ **ファイルの長さ**
⓫ **ビットレート表示**
⓬ **時刻表示**

ストラップ（市販品）の取り付け

ストラップ取り付け部に固定する

・ 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。
・ ストラップは付属されていません。

電源について

電池を入れる

1 電池カバーの矢印部分を上から軽く押しながら、スライドさせて開ける

2 単4形電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる

3 電池カバーを Ⓐ の方向に押さえながら閉じて、Ⓑ の方向にスライドさせ、電池カバーを完全に閉める

電池表示について

電池の残量に応じて電池表示が次のようにかわります。

[▮▮▮] → [▮▮] → [▮]

- [▮] 表示にかわった場合、早めに新しい電池に交換してください。電池がなくなると、[ ] と [**電池を交換してください**] が表示され、動作が停止します。

ニッケル水素充電池

本機では、ニッケル水素充電池 BR401（別売）をご使用いただけます。ニッケル水素充電池／充電器セット BC400（別売）と併せてご利用ください（☞ P.107）。

ご注意

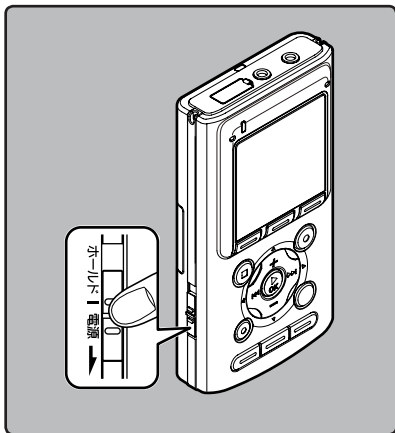
- 本機では、充電池に充電できません。
- 本機でマンガン電池はご使用になれません。
- 交換の際は単 4 形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用ください。

・ 電池の交換は必ず本機の電源を切ってから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生する恐れがあります。
・ 本機から電池を抜いた状態が 1 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れをすると、初期設定が必要になる場合があります(☞ P.21)。
・ 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
・ 内蔵スピーカで再生するとき、電池表示が[▮▮▮]であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合、音量を下げてご使用ください。

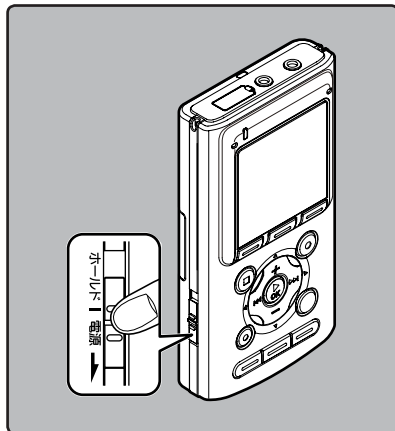
電源を入れる/切る

本機をご使用にならない場合、電源を切ることで、電池の消耗を最小限に抑えられます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

電源/ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる

・ 電源が入り画面が点灯します。

電源を切る

ラジオ・テレビ受信中または停止中に、**電源/ホールド**スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる

・ 画面が消灯し電源が切れます。

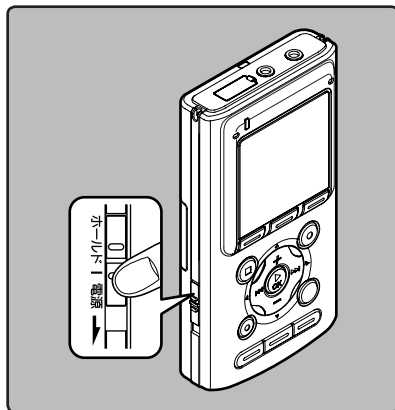
省電力機能について [オートオフ]

電源を入れて停止状態のままで、指定の時間が経過すると、画面が消灯し電源が切れます (☞ P.81、P.85)。

誤操作を防止する−ホールド機能

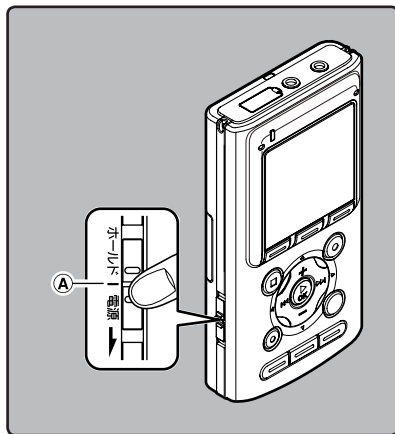
ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びなどに便利です。

ホールドにする

ラジオ・テレビ受信中、録音中または再生中に、電源／ホールドスイッチをホールド側へスライドさせる

・［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

・ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、日付表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。

ホールドを解除する

電源／ホールドスイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる

ご注意

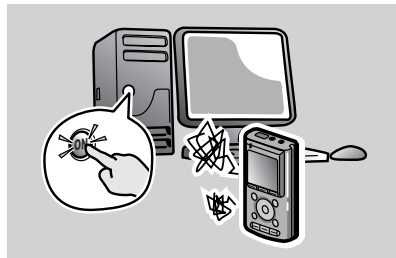
・再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります(再生が終了またはメモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります)。

ラジオのご使用にあたって

ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。また、受信場所周囲の電気製品などが原因で受信障害が起きる場合もあります。受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください。

● 建物の中やビルの影では、受信できない場合があります：

電波の届きやすい場所に移動してください。建物の中では窓辺に移動すると放送波を受信しやすくなります。

● 電気製品の近くでは、受信できない場合があります：

電気製品から離れた場所に移動してください。

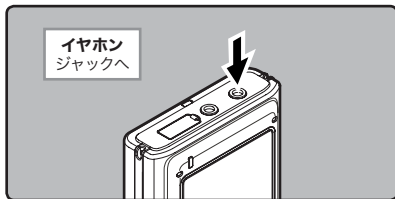
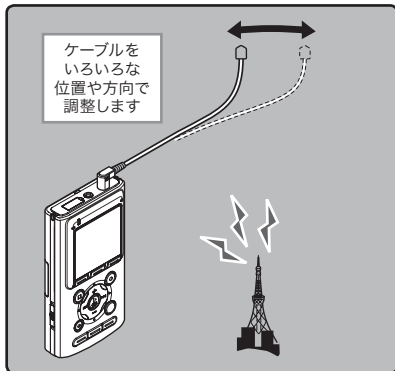
● 自動車やバイクの近くでは、ノイズが入る場合があります：

自動車やバイクから離れた場所に移動してください。

外出先での受信

外出先で使用する場合、イヤホン、ＦＭケーブルアンテナや内蔵のＡＭアンテナでテレビやラジオ放送を受信いただけます。ただし、放送エリアの外や山間部など地形により電波の届かない場所でのラジオ・テレビ受信はできません。あらかじめご了承ください。

ＦＭラジオやテレビを受信する：

1 本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンまたは FM ケーブルアンテナを接続する

2 受信状態が良好になるようにアンテナの位置を調整する

- 付属のイヤホンはＦＭアンテナの役割もしています。
- イヤホンや FM ケーブルアンテナと接続した場合、ケーブルをなるべく伸ばして位置や向きを調整し、より良い受信状態にしてください。この場合、ケーブルに何も引っかからないよう周囲の状況に十分ご注意ください。

AM ラジオを受信する：

本機の位置や方向を調整して、ノイズが少なく受信状態が良好な場所で使用する

- AM アンテナは内蔵型です。受信状態が悪い場合、直接本機の位置や向きを調整してください。

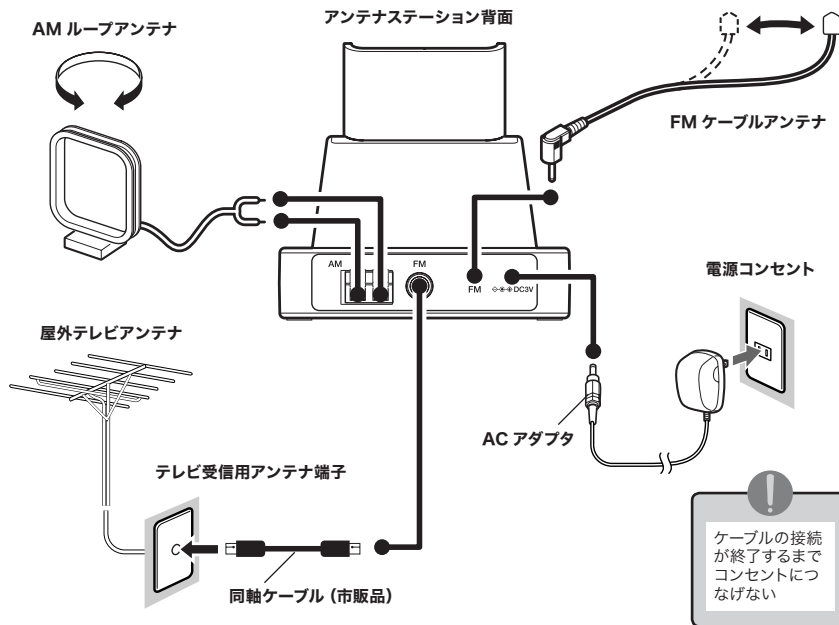
ご注意

- 放送エリア内でもトンネルや地下道、コンクリートで構造物を覆っているようなビルやマンションの内部や、これら建物の影などでは電波が届きにくくなる場合が多くあります。このような場所でのラジオ受信はできません。
- 本機でラジオ・テレビ番組を受信する場合、携帯電話、パソコンやテレビなど他の電気製品と同時に使用することはお避けください。ノイズが発生する恐れがあります。

アンテナステーションを使う

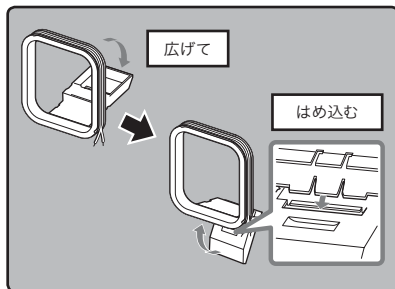
アンテナステーション（同梱）を使用すると、家庭用電源から本機の電源を供給できます。また、外部アンテナ端子にAMループアンテナ、FMケーブルアンテナや同軸ケーブル（市販品）を接続できます。
受信状態の良好な場所に設置してください。

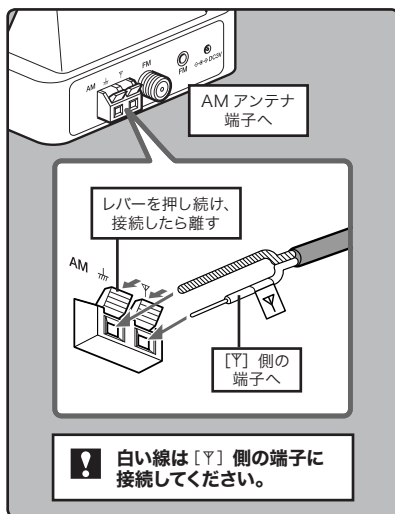
設置前にお読みください：

すべてのケーブルの接続が終了するまでは、電源プラグをコンセントにつなげないでください。また本機の電源は設置が終了するまで入れないでください。

設置場所の選びかた：

- ✔ 車道に面した部屋を避け、受信状態がもっとも良好な部屋を選び設置してください。
- ✔ 蛍光灯の真下などは避け、他の電気製品から離れた場所を選び設置してください。
- ✔ アンテナステーションを設置する場合、不安定な台の上などはお避けください。平らで安定した場所を選び設置してください。
- ✔ お部屋のテレビ受信用アンテナ端子を使いアンテナステーションに接続する場合、事前にアンテナ端子の形状をご確認のうえ同軸ケーブル（市販品）をご用意ください。

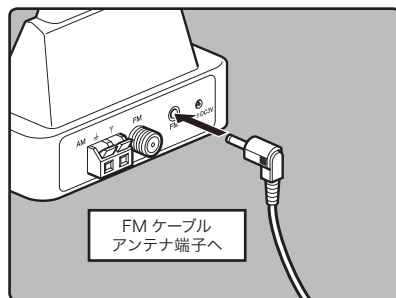
設置のしかた

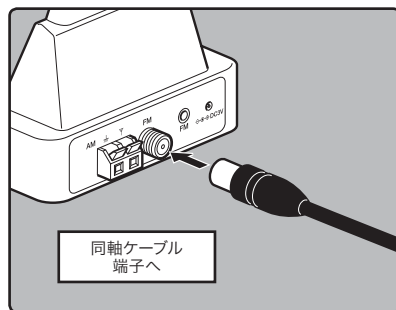
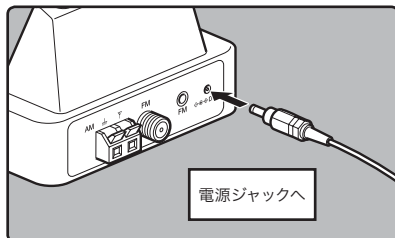
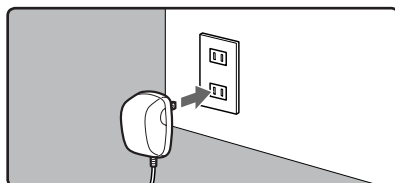
1 AM ループアンテナを組み立てる

2 AM アンテナ端子に接続する

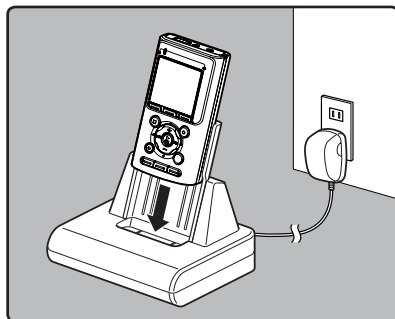
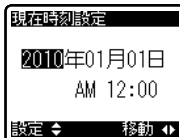
- 実際にラジオを受信して、より良い受信状態になるように、アンテナの位置や向きを調整してください。

- 他の電気製品やアンテナステーションの電源ケーブルに沿って置くと受信障害が起こる場合がありますのでお避けください。

3 FM アンテナ端子に接続する

FM ケーブルアンテナを使う場合：

- FM ケーブルアンテナは簡易アンテナです。
- 実際にラジオ・テレビを受信して、より良い受信状態になるように、アンテナの位置を調整してください。

テレビ受信用アンテナを使う場合：

- テレビ受信用アンテナを接続すればより安定した受信状態でお使いいただけます。
- テレビ受信用アンテナを接続する場合、FM ケーブルアンテナの接続は必要ありません。

4 アンテナステーションの電源ジャックにACアダプタのプラグを接続する

5 ACアダプタの電源プラグを家庭用電源のコンセントに差し込む

6 本機をアンテナステーションに差し込む

- 角度が合わないままで、無理にアンテナステーションに差し込まないでください。

- ご購入後はじめてご使用になる場合、初期設定画面が表示されます。初期設定がお済みでない場合、日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.21）。

初期設定画面

7 本機の電源を切り、アンテナステーションから取り外す

- 電源を入れたまま、アンテナステーションから本機を取り外さないでください。設定済みの各種機能が初期値に戻る恐れがあります。

ご注意

- ラジオ・テレビ番組などを録音する場合、安定した電源供給ができるアンテナステーションのご使用をおすすめします。電池切れで録音が途切れることもありません。
- FM ケーブルアンテナは簡易アンテナです。位置や向きで調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください。もし受信状態の改善に十分な効果が得られない場合、設置場所を変えるかアンテナステーションの外部アンテナ端子とテレビ受信用アンテナ端子を同軸ケーブル（市販品）で接続してください。
- テレビ受信用アンテナ端子に接続してご使用の場合、ケーブルテレビ局などを経由してテレビを受信されていると放送局の周波数が通常と異なることがあります。
  詳しくはケーブルテレビ局などにお問い合わせください。
- AMラジオは特に周囲の状況により受信状態が左右されます。このため、電気製品、電源コードや電源コンセントから離れた場所でご使用いただくか、これら電気製品の電源を切ってからご使用ください。
  また、道路や道路に面した部屋などに設置すると、自動車やバイクのウィンカーやイグニッションなどでもノイズが入ってしまう恐れがありますのでご注意ください。
- 本機が録音中の場合、アンテナステーションからの抜き差しをしないでください。録音中の内容が再生できなくなる恐れがあります。

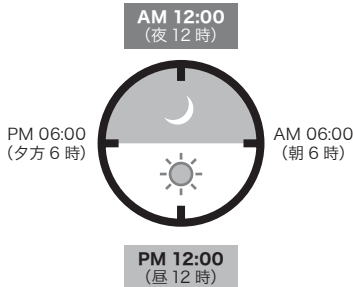
初期設定をする

初期設定で日付・時刻および放送局を登録します。本機の時計機能が働き、録音時に「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。また、登録した放送局の呼び出しが簡単になり、放送番組などの予約録音もできます。あらかじめ初期設定をしてください。

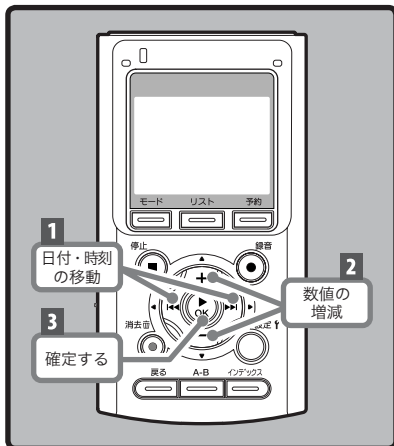
ご購入後はじめてご使用になる場合や長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合、初期設定画面が表示されます。

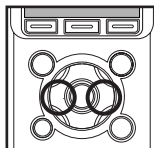
［**現在時刻設定**］画面が表示されたら、「**日付・時刻を合わせる**」および「**放送局を自動登録する**」（☞ P.22）の操作をします。

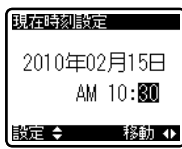
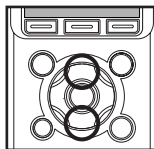
時刻合わせのときは

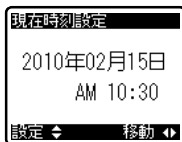
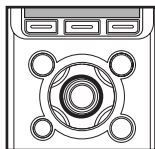
本機はAM（午前）とPM（午後）の12時間制で時刻を表示します。時刻を合わせる場合、午前と午後の12時をお間違えないようご注意ください。

ご注意

- 昼の12時に時刻合わせをする場合、［**PM 12:00**］に設定してください。

日付・時刻を合わせる

1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- 「**年**」「**月**」「**日**」「**時**」「**分**」の中から、設定したい項目に合わせてください。

2 ＋または－ボタンを押して設定する

- 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して設定します。
- ［**AM**］（午前）、［**PM**］（午後）の切り替えは、＋または－ボタンを押してください。

3 OK ▶ ボタンを押す

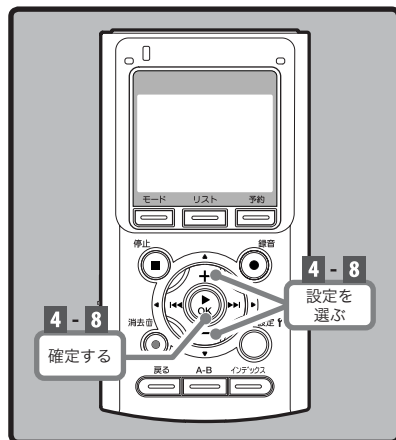
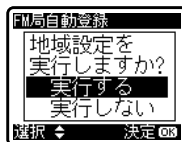
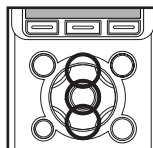
・ 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて **OK** ▶ ボタンを押してください。

OK ▶ ボタンを押すと［**FM 局自動登録**］画面に入ります。引き続き「**放送局を自動登録する**」の手順 4 にお進みください。

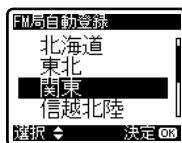
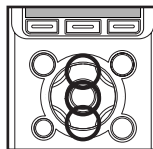
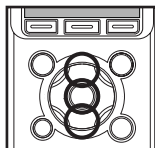
時刻自動補正機能について

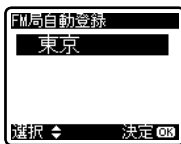
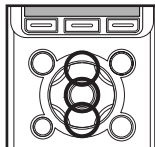
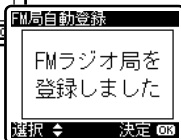
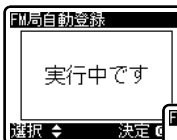
本機の電源が切れているときに、NHK 第一放送の 0 時、6 時、12 時、18 時の時報を利用して自動的に時刻合わせをします。

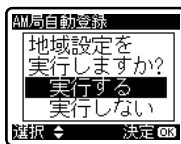
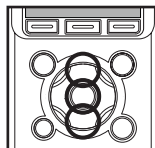
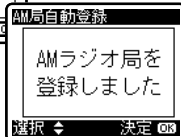
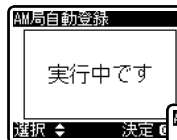
ご注意

・ AM ラジオ局を自動登録して NHK 第一放送が放送局リストにないと時刻自動補正は機能しません。
NHK 第一放送の受信については「**NHK 第一放送 (周波数リスト)**」もご覧ください (☞ P.111)。
・ NHK 第一放送の受信状態が良くない場合は機能しません。
・ 本機の時刻と現在の時刻が前後 5 分以上ずれている場合、補正できません。設定画面から日付・時刻を合わせ直してください (☞ P.81、P.82)。

放送局を自動登録する

4 **＋または－ボタンを押して［実行する］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

・［**実行しない**］を選ぶと、FMラジオ局は登録されません。そのまま［**AM 局自動登録**］画面に入ります。

5 **＋または－ボタンを押してお住まいの地方を選び、OK ▶ ボタンを押す**

6 **＋または－ボタンを押して お住まいの都道府県を選び、 OK ▶ ボタンを押す**

・ お住まいの絞込みの途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。引き続き設定をしてください。

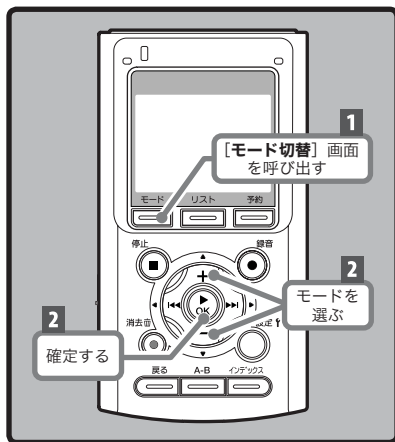
7 **＋または－ボタンを押して お住まいの地域を選び、 OK ▶ ボタンを押す**

・ ［**実行中です**］が表示され、FMラジオ局の自動登録を開始します。［**FM ラジオ局を登録しました**］と表示されたら終了です。

・ FMラジオ局の自動登録が終了すると［**AM 局自動登録**］画面に入ります。

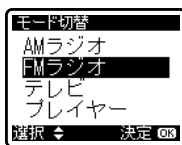
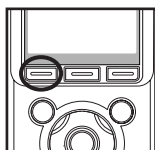
8 **＋または－ボタンを押して ［実行する］を選び、 OK ▶ ボタンを押す**

・ 手順 5 から手順 7 の［**FM局自動登録**］の設定と同じように、お住まいの地域で絞り込みます。
・ ［**実行中です**］が表示され、AM ラジオ局の自動登録を開始します。［**AM ラジオ局を登録しました**］と表示されたら終了です。

・ 初期設定が終了すると、FMラジオモード受信表示画面に入ります。
・ FM/AM ラジオ局とも［**実行しない**］を選ぶと、放送局は登録されません。そのまま AM ラジオモード受信表示画面に入ります。
・ AM ラジオ局を自動登録して NHK 第一放送を放送局リストに登録しないと時刻自動補正は機能しません。

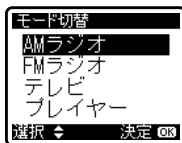
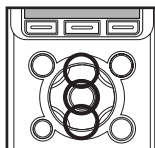
ご注意

・ 自動登録されたラジオ局は受信状況に関わらず、選んだ地域の放送局が登録されます。
・ 現在受信している放送局を登録したり、周波数を手動で調整して登録できます（☞ P.64、P.65）。
・ 放送局の自動登録は設定画面からやり直すこともできます（☞ P.67）。

モードの切り替え

ラジオとしてもご使用いただける他、IC レコーダーやミュージックプレイヤーとしていつでもお楽しみいただけます。

1 モードボタンを押す

- ［**モード切替**］画面に入ります。

2 +または−ボタンを押してモードを選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押してモードを切り替えることもできます。

- 操作中に 3 秒間何も操作が無かった場合、そのときのカーソル位置でモードが切り替わります。

［AMラジオ］［FMラジオ］［テレビ］を選んだ場合：

ラジオ、テレビの受信モードに切り替わり、放送番組を受信・録音できます (☞ P.28、P.31)。

［プレイヤー］を選んだ場合：

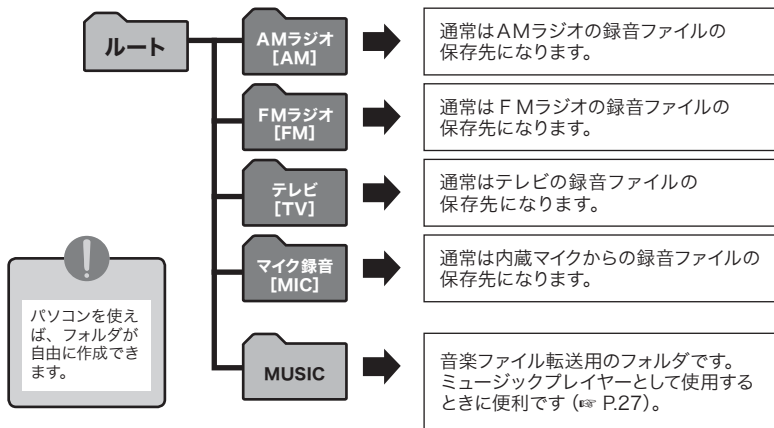
プレイヤーモードに切り替わり、マイクから録音したり、ファイルを再生できます (☞ P.32、P.36)。

ご注意

- 録音中の場合、本機のモードの切り替えはできません。

フォルダについて

録音用フォルダについて

録音するファイルは音源ごとに保存する録音用フォルダを指定できます。お好みで、他のフォルダに設定を切り替えることもできます (☞ P.69、P.70)。

ファイルのなまえについて

本機で録音したファイルには、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

FM 100215 NF1 0915 .WMA
① ② ③ ④ ⑤

① **音源：**
本機で録音した場合の音源の略号です。
- FM ラジオ録音　**FM**
- AM ラジオ録音　**AM**
- テレビ録音　**TV**
- マイク録音　**MC**

② **録音した日付：**
録音した日付を 6 桁の数字であらわします。
例：2010 年 2 月 15 日
100215

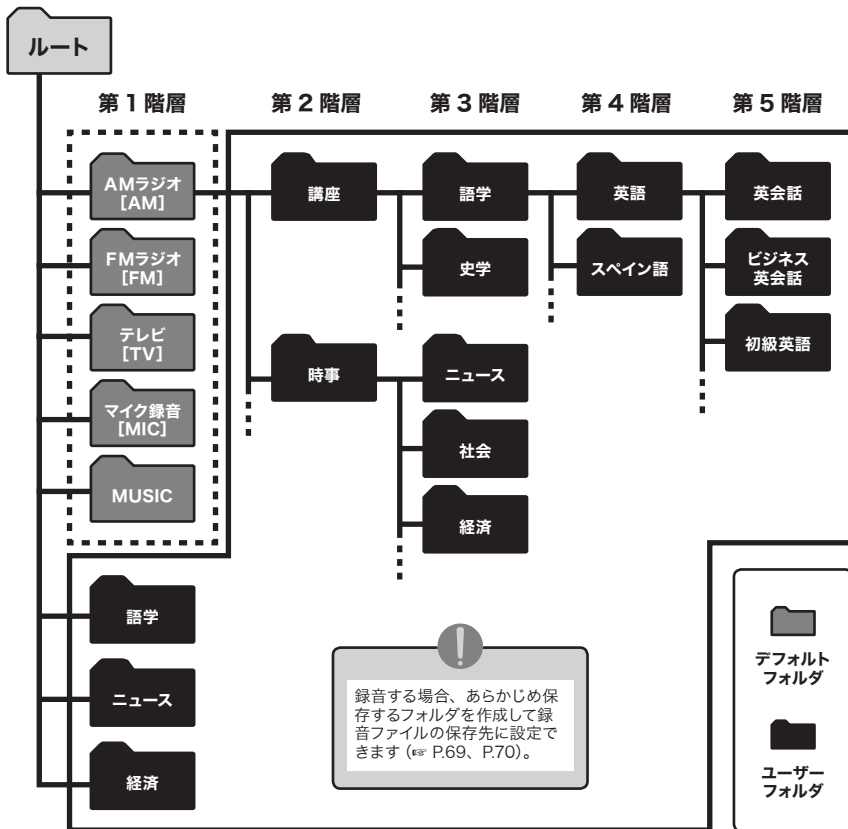
③ **認識番号：**
本機で録音したときの放送局名などを略号であらわします。またマイクから録音すると常に［**000**］になります。

④ **録音開始時間：**
録音した時間を 4 桁の数字であらわします。
例：9 時 15 分
0915

⑤ **拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
- MP3 形式　**.MP3**
- WMA 形式　**.WMA**

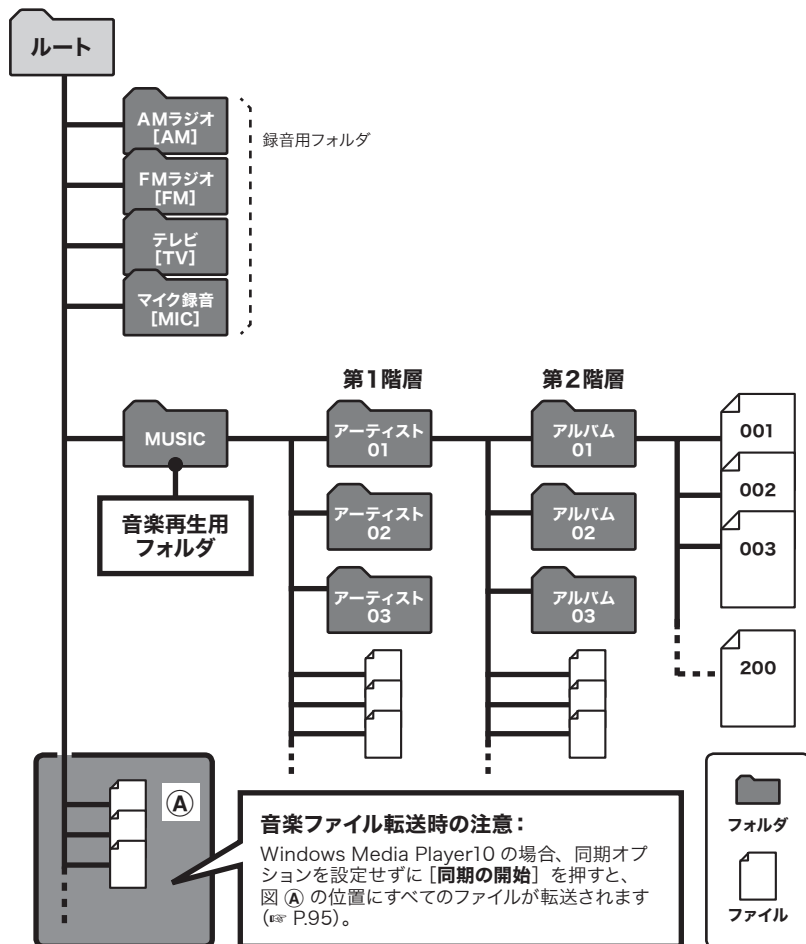
フォルダ階層について

パソコンと接続すればファイル管理ツールなどで、本機の録音用フォルダや音楽再生用フォルダを作成でき、1 フォルダには最大 200 件、ファイルを合計で最大 2,000 件まで保存できます。

ご利用の 1 例：

ご注意

・ 本機の最大保存ファイル件数の 2,000 件を超えて録音することはできません。また、メモリ残量がある限りパソコンからファイルを転送して本機に保存できますが、そのファイルを本機で確認および再生はできません。

音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ（[**MUSIC**]）に下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。

AM ／ FM ラジオやテレビ放送を聞く

受信モードを切り替えてラジオやテレビ番組を受信できます。

受信に関する設定

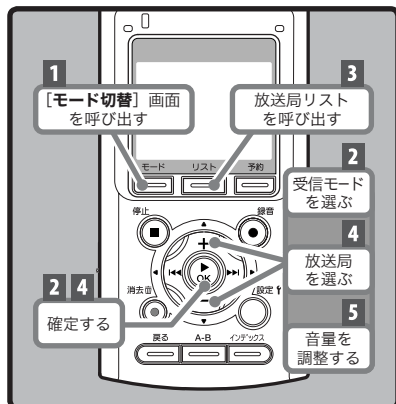
AM／FMラジオでは聞きたい周波数を調整して放送局リストに登録できます(☞ P.64 〜 P.68)。

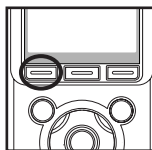
[ラジオ局登録］の設定項目：

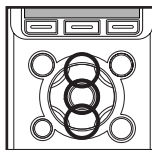
［**現在の局を登録**］	受信中の放送局を、放送局リストに登録します。
［**マニュアル登録**］	放送局の周波数を探しながら、放送局リストに登録します。

・ 初期設定がお済みでない場合、日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください (☞ P.21)。

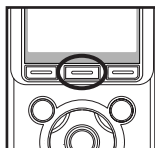
ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。

・受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください (☞ P.16)。
・携帯電話、パソコン、テレビ、蛍光灯などの電気製品の近くに置いて使用すると、ノイズが発生する恐れがあります。

1 **モード**ボタンを押す

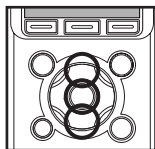
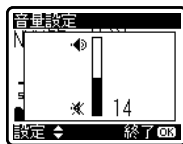
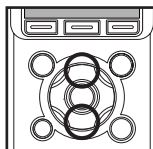
・［**モード切替**］画面に入ります。

2 **＋**または**－**ボタンを押して受信モードを選び、OK ▶ ボタンを押す

・ 受信表示画面に入ります。
・ **モード**ボタンを繰り返し押しても受信モードを選べます。

・［**プレイヤー**］を選んだ場合の操作は「**再生する**」(☞ P.36) をご覧ください。

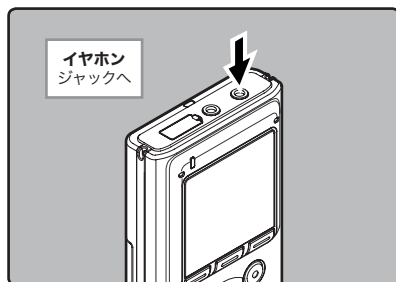
3 **リスト**ボタンを押す

・ ラジオ・テレビ受信モード表示画面から、放送局リストに入ります。

・ **戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。
・ 放送局リストでは受信モードの切り替えはできません。手順１から手順2の操作をしてください。
・ 操作中に３秒間何も操作が無かった場合、そのときのカーソル位置で放送局が切り替わります。

4 **＋またはーボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押す**

・ **リスト**ボタンを繰り返し押しても放送局を選べます。

5 **＋またはーボタンを押して聞きやすい音量にする**

・［**00**］〜［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。
・ 音がひずむ場合、音量を下げてください。

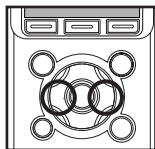
イヤホンで聞くには

イヤホンジャックにイヤホンを接続する

・ 通常はイヤホンを接続するとスピーカから音はでません。
・ ＦＭラジオやテレビを聞く場合、イヤホンはアンテナの役割もしています。詳しくは「**外出先での受信**」をご覧ください（☞ P.17）。

ご注意

・ 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
・ 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

登録した放送局以外の AM／FM ラジオやテレビを聞く

受信中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して周波数を調整する

- AM ラジオの場合、▶▶I または I◀◀ ボタンを押すと 9 kHz ステップで周波数が増減します。
- FM ラジオの場合、▶▶I または I◀◀ ボタンを押すと 0.1 MHz ステップで周波数が増減します。
- テレビの場合、周波数の調整はできません。受信するテレビ局のみ切り替わります。
- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると、周波数の増減が速くなります。

ご注意

- 調整した周波数は、放送局リストに登録できます (☞ P.64)。

録音する

録音に関する設定

モードごとに、保存するフォルダ、音質などを設定できます (☞ P.69 ~ P.72)。

[録音設定] の設定項目：

[**AM 録音設定**] [**FM 録音設定**] [**テレビ録音設定**]	それぞれの受信モードで放送番組を録音するときの設定をします。
[**マイク録音設定**]	内蔵マイクや外部マイク、他の機器から録音するときの設定をします。内蔵マイクで録音する場合、さらにマイク感度の切り替えや VCVA 機能の設定ができます。

- 録音中は [**録音設定**] の変更ができません。停止中に設定してください。
- 録音した音源は、1 回の録音ごとに自動的にファイル名が付けられ保存されます (☞ P.25)。
- 録音中に**予約**ボタンを押すと、録音終了時間を設定できます (☞ P.34)。

FM ラジオを録音するとき

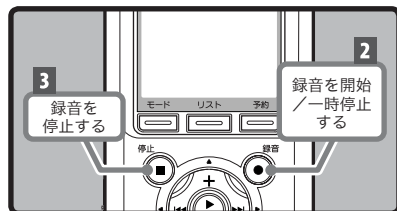
FM ラジオがきれいに聞こえても、受信環境により録音を開始するとノイズが入ることがあります。失敗のない録音をするために試し録りをしてください。ノイズが録音されている場合、アンテナの向きを調整してきれいに録音できる場所で使用してください。

AM ラジオを録音するとき

AM ラジオの録音でノイズが多く入る場合、[**AM 画面表示**] の設定を [**OFF**] にしてご使用ください。

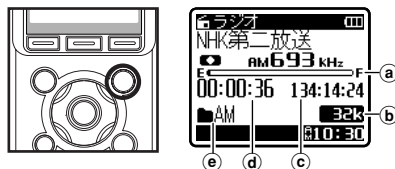
ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります

- 受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きで調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください (☞ P.16)。
- パソコン、携帯電話、テレビ、蛍光灯などの電気製品の近くに置いて使用すると、ノイズが発生する恐れがあります。

AM / FM ラジオやテレビ放送を録音する

1 録音したい放送番組を受信する

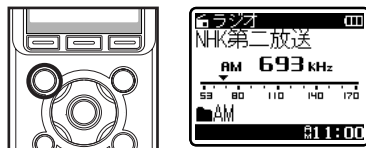
- 詳しくは「**AM / FM ラジオやテレビ放送を聞く**」をご覧ください (☞ P.28)。

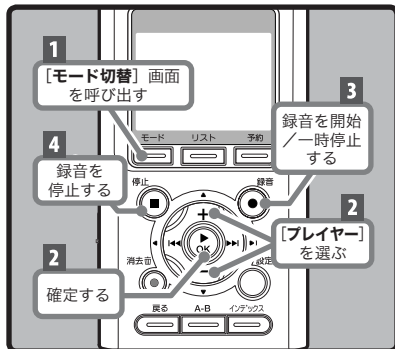
2 録音 (●) ボタンを押して録音を開始する

- [■] 表示が点灯します。

ⓐ メモリ残量表示バー
ⓑ 録音ビットレート表示
ⓒ 録音可能な残り時間
ⓓ 録音経過時間
ⓔ 保存先フォルダ名

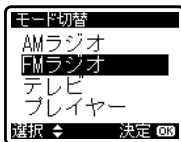
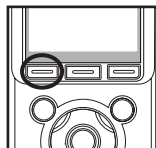
3 停止 (■) ボタンを押して録音を停止する

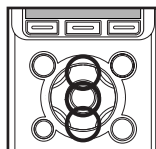
- [■] 表示が消灯し、受信表示画面に戻ります。

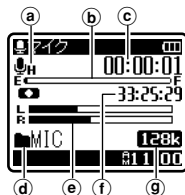
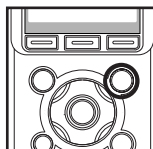
ご注意

- AM / FM ラジオやテレビ放送を録音中は常時バックライトがオフになります。

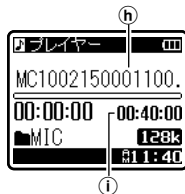
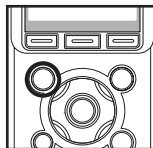
マイクで録音する

外部マイクや他の機器から録音する場合、あらかじめ接続をしてください（☞ P.35）。

1 モードボタンを押す

- ［**モード切替**］画面に入ります。

2 ＋または－ボタンを押して［プレイヤー］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押してもプレイヤーモードを選べます。

3 録音（●）ボタンを押して録音を開始する

- 録音したい方向に内蔵マイクを向けます。
- ［■］が点灯します。

ⓐ マイク感度表示
ⓑ メモリ残量表示バー
ⓒ 録音経過時間
ⓓ 保存先フォルダ名
ⓔ 録音レベルメータ表示（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）
ⓕ 録音可能な残り時間
ⓖ 録音ビットレート表示

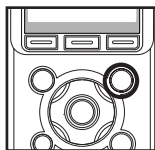
4 停止（■）ボタンを押して録音を停止する

ⓗ 録音ファイル名（ファイル名を表示しきれない場合、スクロールします）
ⓘ ファイルの長さ

録音に関する注意事項

- FM ラジオを録音した場合、実際の録音時間と本機で表示されるファイルの長さが違うことがあります。これは、ノイズの影響を避けるため に本機内部の動作周波数を自動的に切り替えているので実際の録音時間は問題ありません。
- 記録媒体（メモリ）は書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ち、音飛びした状態で録音されることがあります。このような場合には大切なファイルをパソコンに転送してから初期化をしてください（☞ P.81 、P.84）。

・ 内蔵マイクや外部マイクまたは他の機器から録音する場合、頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯を確認してから録音をしてください。
・ 録音可能な残り時間が 60 秒になると、録音表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
・ ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください (☞ P.46、P.69、P.70)。
・ ［**総ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。不要なファイルを消去してから録音をしてください (☞ P.46)。
・ ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください (☞ P.46)。

一時停止するには

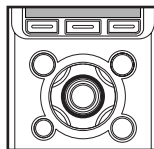
録音中に録音（●）ボタンを押す

・ ［ ］表示が点灯します。
・ 録音一時停止のまま2時間以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには：

録音（●）ボタンをもう一度押す

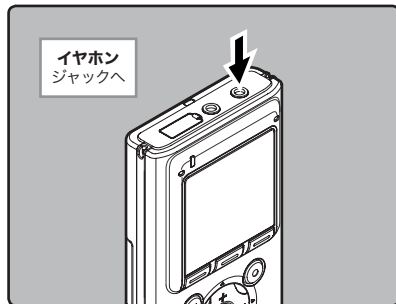
・ 一時停止した位置から録音を再開します。

録音内容をすぐに確認するには

録音が終了したら、OK ▶ ボタンを押す

・ プレイヤーモードで操作するとマイクからの録音で、最後に録音したファイルを再生します。
・ ラジオ・テレビ受信モードで操作するとプレイヤーモードに切り替わり、そのときの受信モードで最後に録音したファイルを再生します。

録音中の音声を聞くには(録音モニター)

イヤホンを本機のイヤホンジャックに差し込むと、録音中の音声を聞けます。録音モニターの音量は＋または－ボタンを押して調整できます。

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続する

録音ファイルについて

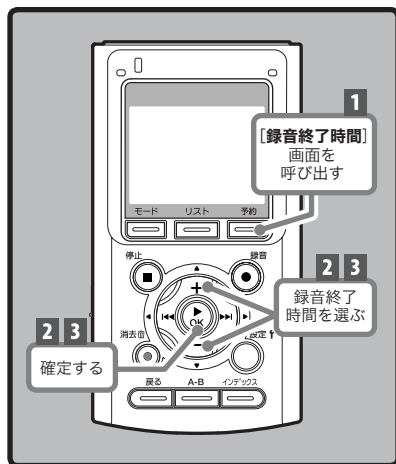
本機で録音したファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは、設定した録音音質により下記のようになります (☞ P.69、P.70)。

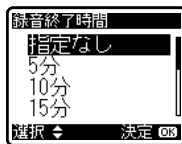
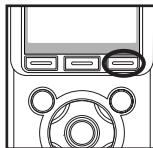
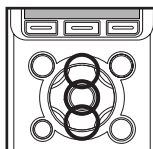
録音音質	ファイル形式	サンプリング周波数／ビットレート
［**高音質**］	MP3 形式	44.1 kHz、48 kHz* ／ 128 kbps
［**標準音質**］	MP3 形式	44.1 kHz、48 kHz* ／ 64 kbps
［**長時間音質**］	WMA 形式	44.1 kHz ／ 32 kbps

* FM ラジオを録音する場合、ノイズの影響を避けるため、放送局によりサンプリング周波数が自動的に切り替わります。

・［**録音音質**］の設定で［**標準音質**］または［**長時間音質**］を選んだ場合、モノラル形式で録音します。また、［**高音質**］を選んだ場合、ステレオ形式で録音します。

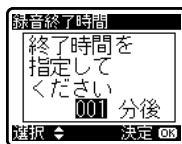
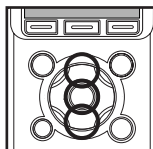
録音終了時間を設定する

指定した時間で録音を終了できます。

1 録音中に**予約**ボタンを押す

・［**録音終了時間**］画面に入ります。

2 **+**または**−**ボタンを押して録音終了時間を選び、OK ▶ ボタンを押す

・設定した時間が経過すると自動的に録音が終了します。

・［**録音終了時間**］の設定で［**任意**］を選んだ場合、手順 3 の操作で詳細な時間設定ができます。

・録音終了時間を解除する場合、再度手順 1の操作をして［**指定なし**］をお選びください。

3 **+**または**−**ボタンを押して録音終了時間を増減し、OK ▶ ボタンを押す

・1分から最大 240 分まで録音終了時間を指定できます。

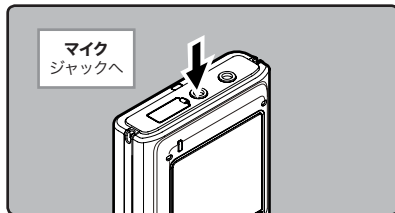
外部マイクや
他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。

> **接続前にお読みください：**
>
> すべての機器とケーブルの接続が終了するまでは、電源を入れないでください。また、本機のジャックへの抜き差しは、録音中にしないでください。

> 外部マイクや他の機器を使用して録音する場合、［**プレイヤー**］モードに切り替えてください。

外部マイクで録音する：

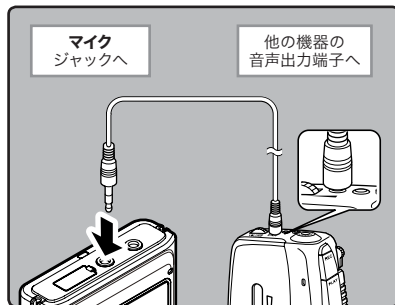
マイクジャックに外部マイクを接続する

- ご使用いただける外部マイクについては、「**アクセサリー（別売）**」をご覧ください（☞ P.107）。

ご注意

- 本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- ［**録音音質**］の設定で［**高音質**］を選んだ場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.69、P.70）。
- ［**録音音質**］の設定で［**標準音質**］または［**長時間音質**］を選んだ場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとＬ側マイクのみの録音となります（☞ P.69、P.70）。

他の機器の音声を本機で録音する：

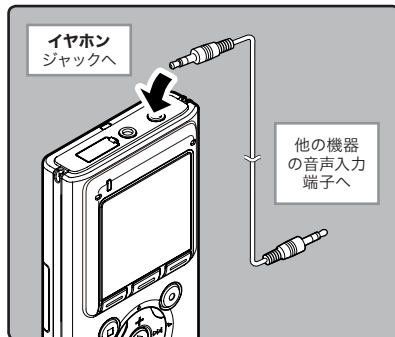
マイクジャックに他の機器を接続する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

ご注意

- 外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する：

イヤホンジャックに他の機器を接続する

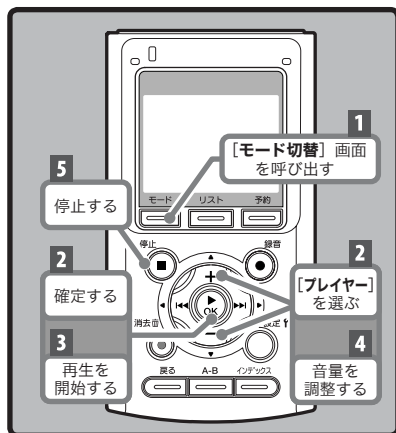
他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

再生する

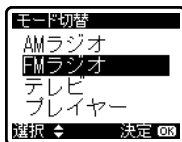
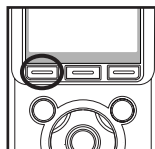
本機で録音したファイルの他、パソコンから転送した MP3、WMA 形式のファイルを再生できます。

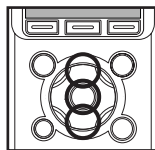
再生に関する設定

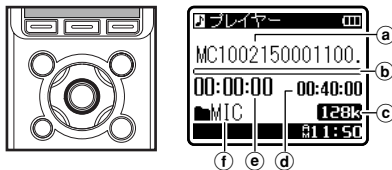
［**プレイヤー**］モードでの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びいただけます
(☞ P.73 ～ P.75)。

部分リピート	再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。
［**再生モード**］	お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。
［**ランダム**］	ランダム再生の切り替えをします。
［**早聞き倍速**］ ［**遅聞き倍速**］	会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。
［**少し前再生**］	再生中に設定した秒数だけ戻って再生を繰り返せます。
［**しおり機能**］	ファイルの途中で再生を中断した位置を記憶できます。

・ 本機に転送したファイルが再生できない場合、「**音楽ファイルについて**」をご覧ください (☞ P.38)。

1 モードボタンを押す

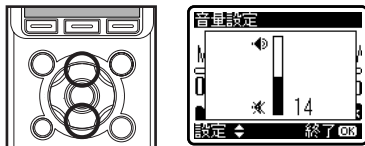
・［**モード切替**］画面に入ります。

2 ＋または－ボタンを押して［プレイヤー］を選び、OK ▶ ボタンを押す

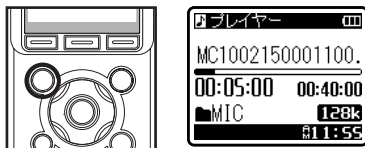
・ ファイル表示画面に入ります。
・ **モード**ボタンを繰り返し押してもプレイヤーモードを選べます。

・ ファイル表示画面では ▶▶I または I◀◀ ボタンを押してファイルを選び、**OK** ▶ ボタンを押してください。

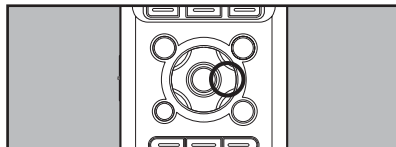
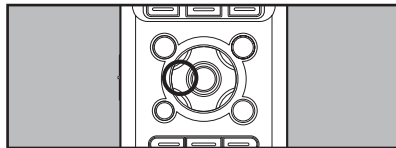
3 再生したいファイルを探し、OK ▶ ボタンを押して再生を開始する (☞ P.41 〜 P.44)

ⓐ ファイル名・タイトル名 (表示しきれない場合、スクロールします)
ⓑ 再生位置バー表示
ⓒ ビットレート表示
ⓓ ファイルの長さ
ⓔ 再生経過時間
ⓕ 保存先フォルダ名

- 再生中に **OK** ▶ ボタンを繰り返し押すと、再生スピードが切り替わります (☞ P.73、P.74)。

通常再生 → 遅聞き再生 → 早聞き再生

4 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

- ［**00**］〜［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

5 停止 (■) ボタンを押して再生を停止する

早送りをするには

ファイル表示画面で停止中に、▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと停止します。**OK** ▶ ボタンを押すと、その位置から再生します。

ファイル表示画面で再生中に、▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

ご注意

- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。
- ファイルの途中でインデックスマーク位置にくると、いったん停止します (☞ P.39)。
- ［**しおり機能**］の設定が［**ON**］の場合、ファイルの途中でしおり位置にくると、いったん停止します (☞ P.73、P.75)。

早戻しをするには

ファイル表示画面で停止中に、停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける

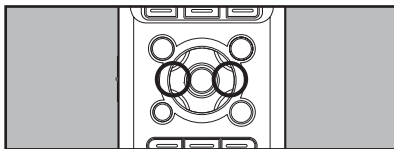
- I◀◀ ボタンから手を離すと停止します。**OK** ▶ ボタンを押すと、その位置から再生します。

ファイル表示画面で再生中に、I◀◀ ボタンを押し続ける

- I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

ご注意

・ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ⏮ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。
・ファイルの途中でインデックスマーク位置にくると、いったん停止します (☞ P.39)。
・［**しおり機能**］の設定が［**ON**］の場合、ファイルの途中でしおり位置にくると、いったん停止します (☞ P.73、P.75)。

ファイルの頭出しをするには

停止中または再生中に ⏭ ボタンを押す

・次のファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを押す

・再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に ⏮ ボタンを押す

・1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを 2 回押す

・1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

・再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中でインデックスマーク位置にくると、いったん停止します。ただし停止中に頭出しをした場合、インデックスマーク位置は飛び越されます(☞ P.39)。
・［**少し前再生**］の設定で時間を指定している場合、再生中に ⏮ ボタンを押すと、その時間分だけ逆スキップして再生を開始します。この場合、頭出しや、インデックスマークの位置に逆スキップしません (☞ P.73、P.75)。
・［**しおり機能**］の設定で［**ON**］を選び、再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中でしおり位置にくるといったん停止します。ただし停止中に頭出しをしたり、［**しおり機能**］の設定が［**OFF**］の場合、しおり位置は飛び越されます (☞ P.73、P.75)。

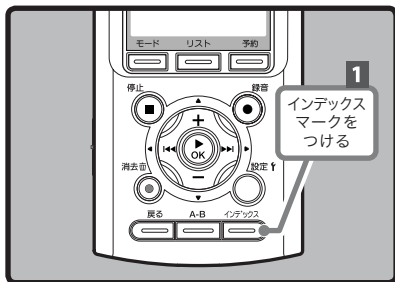
音楽ファイルについて

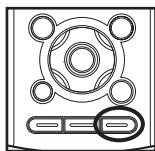
本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

ファイル形式	サンプリングレート	ビットレート
MP3形式	**MPEG1 Layer3**： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**： 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

・可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
・本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

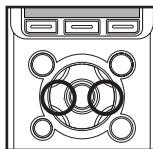
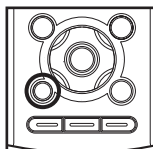
インデックスマークをつける

インデックスマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。

1 録音中または再生中に**インデックス**ボタンを押す

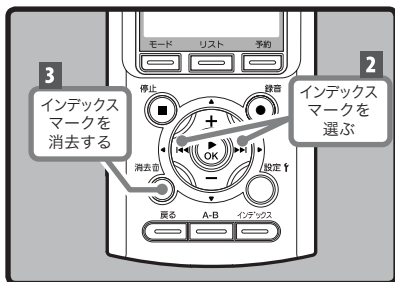
- 画面に番号が表示されインデックスマークがつきます。

- インデックスをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックスをつけることができます。

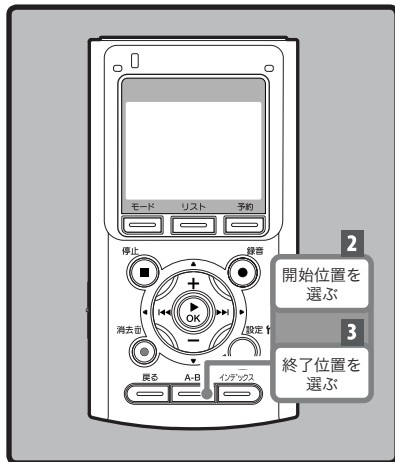
インデックスマークを消去する

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して消去したいインデックスマークを選ぶ

3 インデックス番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**消去** 🗑（●）ボタンを押す

- インデックスマークが消去されます。
- 消去したインデックス以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。

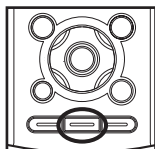
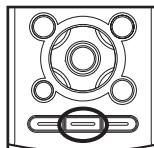
ご注意

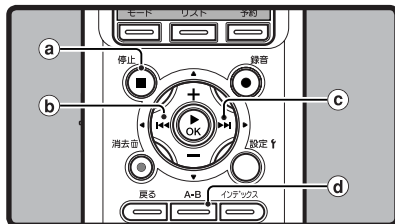
- インデックスは 1 つのファイル内に最大で 16 件までつけることができます。16 件を超えてインデックスをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。

部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。

1 **「ファイル検索」**の操作をしてファイルを選ぶ (☞ P.41 ～ P.44)

・ 部分リピートするファイルの再生を開始します。

2 部分リピート再生の開始位置で、**A – B** ボタンを押す

・［A］表示が点滅します。

3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 **A – B** ボタンを押す

・ 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

部分リピート再生を解除する

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **停止（■）ボタンを押す。**

・ **停止**（■）ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

ⓑ **⏮ ボタンを押す。**

・ **⏮** ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓒ **⏭ ボタンを押す。**

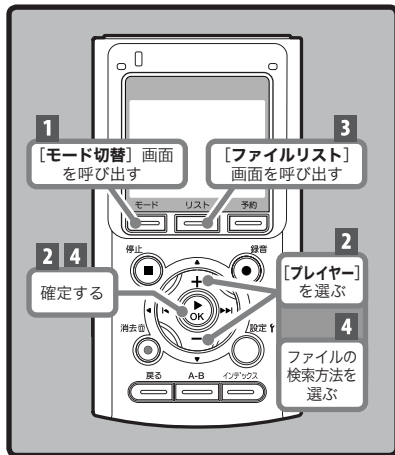
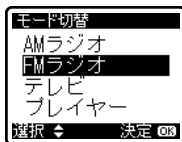
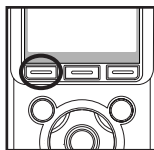
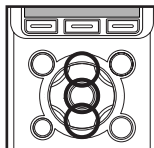
・ **⏭** ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓓ **A – B ボタンを押す。**

・ **A – B** ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、そのまま再生が継続します。

ご注意

・ 部分リピート再生中にインデックスマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります (☞ P.39)。

ファイル検索

ファイル検索画面を呼び出す

ファイル検索の種類：

[**フォルダ検索**] (☞ P.42)	フォルダ階層に沿って、ファイルを絞り込みます。
[**カレンダー検索**] (☞ P.43)	ファイルの日付で絞り込みます。
[**放送局検索**] (☞ P.43)	本機で録音したときの放送局を指定して絞り込みます。
[**最近再生検索**] (☞ P.44)	本機で再生した日付が新しい順にファイルを並べ替えてファイルをリスト表示します。
[**最近録音検索**] (☞ P.44)	最近録音した日付が新しい順にファイルを並べ替えてリスト表示します。
[**未再生ファイル**] (☞ P.44)	本機でまだ再生していないファイルをリスト表示します。
[**全ファイル**] (☞ P.44)	本機に保存しているファイルをすべてリスト表示します。

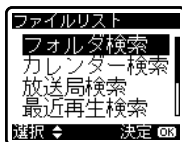
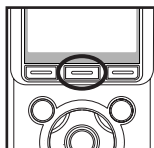
1 **モード**ボタンを押す

・［**モード切替**］画面に入ります。

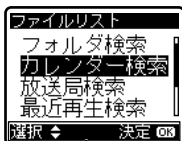
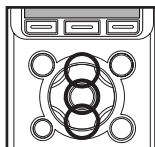
2 **+**または**−**ボタンを押して［**プレイヤー**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

・ファイル表示画面に入ります。
・**モード**ボタンを繰り返し押してもプレイヤーモードを選べます。

3 **リスト**ボタンを押す。

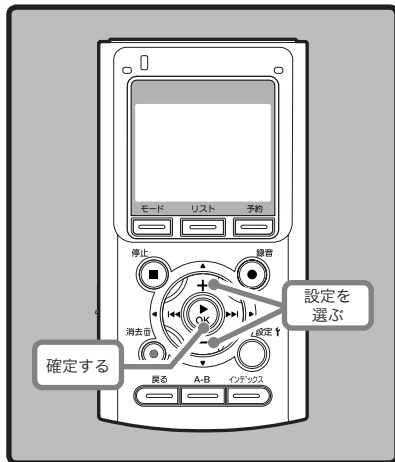
・［**ファイルリスト**］画面に入ります。

・ファイル検索を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください。

4 **+または−ボタンを押してファイル検索の種類を選び、OK ▶ ボタンを押す**

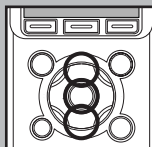
- **リスト**ボタンを繰り返し押してもファイル検索の種類を選べます。

操作ガイド

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。
- 検索の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

> ファイル検索の種類を選んだら、引き続き「**ファイル検索画面の操作**」にお進みください。

ファイル検索画面の操作

[フォルダ検索] で絞り込む場合

本機のフォルダ階層に沿って、ファイルを保存しているフォルダを指定して絞り込みます(☞ P.26)。

1 **+または−ボタンを押してフォルダを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

フォルダを選び階層を移動します

- 選んだフォルダに階層が移動します。さらにフォルダがあれば同じように操作できます。
- フォルダ検索を途中でやめる場合、**戻る**ボタンを押してください。

❷ **+またはーボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ ファイルの再生が開始されます。

[カレンダー検索] で絞り込む場合

本機で録音した日付を指定して絞り込みます。

例:2 月 15 日で絞り込む場合:

最後に録音した日付にカーソルが表示されます。カーソルを下記の操作で 2 月 15 日に移動させてください。

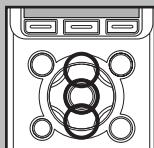
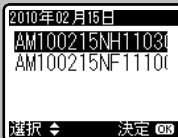
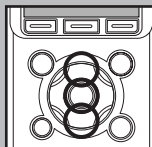
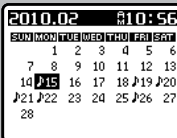
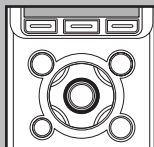
❶ **+ボタンを繰り返し押して日付を選ぶ。**

・ 本機で録音した日付にのみ [♪] 表示が点灯しカーソルを移動できます。

カーソルを移動させる

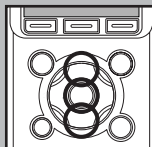
・ **+**または **I◀◀** ボタンを押すたびに、録音した日付がさかのぼります。日付を戻す場合、**ー**または **▶▶I** ボタンを押してください。
・ 前月以前に録音したファイルがある場合、カレンダー画面が切り替わります。
・ カレンダー検索を途中でやめる場合、**戻る**ボタンを押してください。

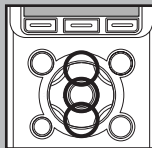
❷ **日付を合わせたら、OK ▶ ボタンを押す。**

2 月 15 日に合わせる

❸ **+またはーボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

指定した日付でファイルがリスト表示されます

・ ファイルの再生が開始されます。

[放送局検索] で絞り込む場合

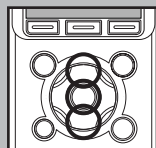
本機で録音したときの放送局を指定して絞り込みます。

❶ **+またはーボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押します。**

選んだ放送局でファイルをリスト表示します。

❷ **+またはーボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ ファイルの再生が開始されます。

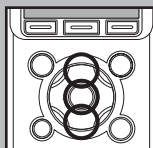
[最近再生検索] で絞り込む場合

最近再生した 20 ファイルを再生した順に並び替えてリストを表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ ファイルの再生が開始されます。

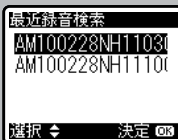
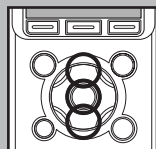
[未再生ファイル] で絞り込む場合

まだ再生していないすべてのファイルをリスト表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ ファイルの再生が開始されます。

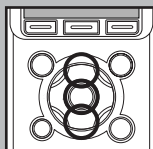
[最近録音検索] で絞り込む場合

最近録音した 20 ファイルを録音した順に並び替えてリストを表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ ファイルの再生が開始されます。

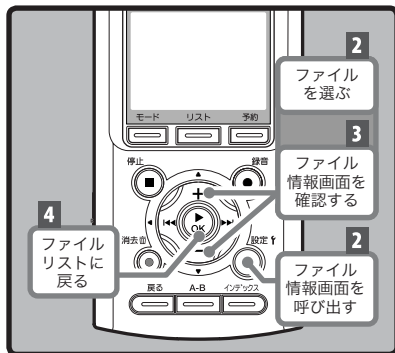
[全ファイル] を選んだ場合

本機に保存しているすべてのファイルをリスト表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ ファイルの再生が開始されます。

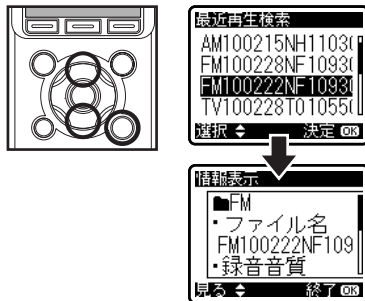
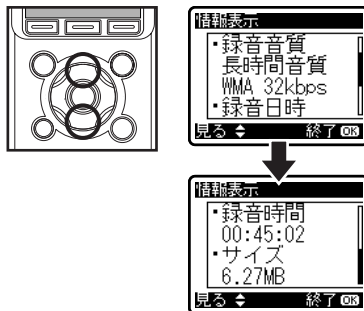
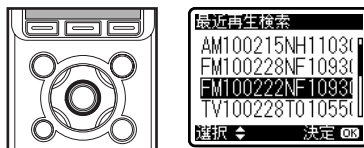
ご注意

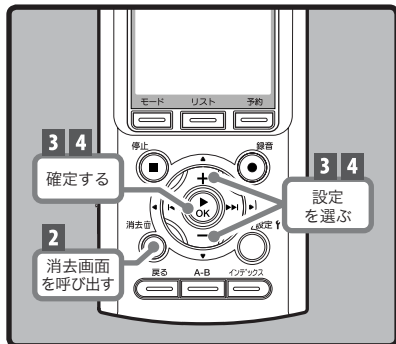
・2,000 件以上のファイルは表示できません。

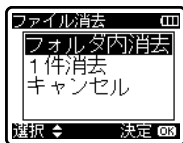
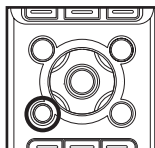
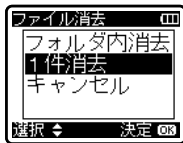
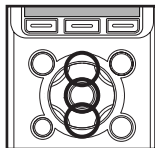
ファイル情報を確認する

1 ファイルリストを表示させる
(☞ P.41 ～ P.44)

［**最近再生検索**］でファイルをリスト表示した場合

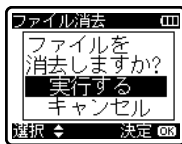
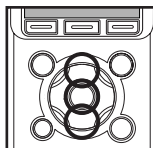
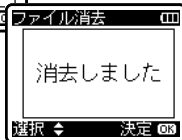
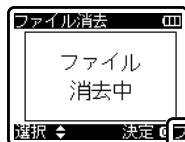
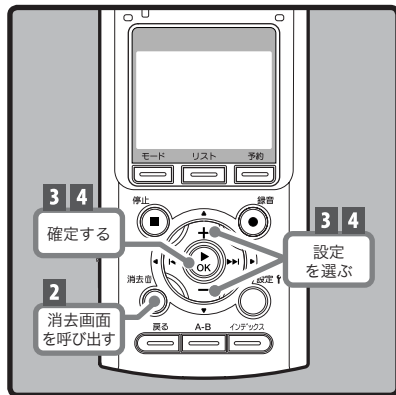
2 **+**または**−**ボタンを押してファイルを選び、**設定**ボタンを押す

・［**情報表示**］画面に入ります。

3 **+**または**−**ボタンを押してファイル情報を確認する

4 OK ▶ ボタンを押してファイルリストに戻る

消去する

ファイルを消去する

1 **「ファイル検索」**の操作をして削除するファイルを選ぶ (☞ P.41 ～ P.44)
- **再生中は消去できません。**
停止（■）ボタンを押して再生を停止してください。

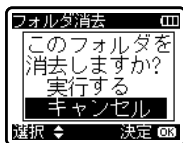
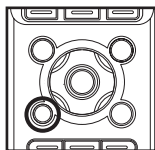
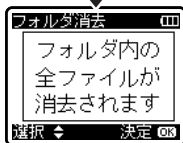
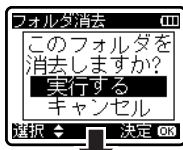
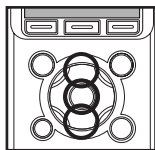
2 ファイル表示画面で停止中に、**消去** 🗑（●）ボタンを押す

3 **+**または**−**ボタンを押して［**フォルダ内消去**］または［**1件消去**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

例：［**1 件消去**］を選んだ場合

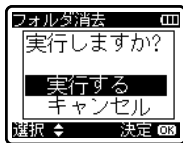
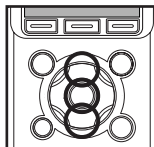
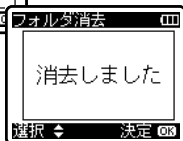
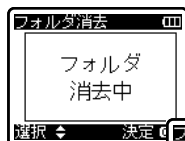
- 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、ファイル表示画面に戻ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- ［**ファイル消去中**］にかわり、消去を開始します。［**消去しました**］と表示されたら終了です。

［フォルダ検索］画面から消去する

1 **「ファイル検索」**の操作をして**[フォルダ検索]**画面から削除するファイルやフォルダを選ぶ(☞ P.41、P.42)

・ **再生中は消去できません。**
停止(■)ボタンを押して再生を停止してください。

例:フォルダを選んだ場合

2 停止中に**消去** 🗑(●)ボタンを押す

3 **+**または**−**ボタンを押して**[実行する]**を選び、OK ▶ ボタンを押す

・ 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、[**フォルダ検索**]画面に戻ります。

4 **+**または**−**ボタンを押してもう一度**[実行する]**を選び、OK ▶ ボタンを押す

・ [**フォルダ消去中**]にかわり、消去を開始します。[**消去しました**]と表示されたら終了です。

消去に関するご注意

・ 本機の[**AM**]、[**FM**]、[**TV**]、[**MIC**]や[**MUSIC**]のデフォルトフォルダ、および予約録音の[**録音保存先**]の設定で保存先に指定したフォルダを消去することはできません。
・ [**フォルダ内消去**]を選んだ場合、現在の階層にあるフォルダ以下に保存されているファイルは消去できません。
・ サブフォルダがあるフォルダは消去できません。
・ フォルダ内に本機が認識できないファイルがある場合、フォルダ消去はできません。
・ 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることのないように、操作の前にあらかじめ新しい電池に交換してください。

予約機能を使う

予約録音の設定

放送番組や内蔵マイク、外部マイクまたは他の機器から予約録音できます。

ご確認ください

予約録音の場合、操作の前に下記の内容をご確認ください。

- ✔ **初期設定がお済みでない場合**：日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.21）。
- ✔ **時刻が合っていない場合：** 日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.81、P.82）。
- ✔ **放送局の登録がない場合：** 設定できません。あらかじめ登録してください（☞ P.64）。
- ✔ **外部機器から録音する場合：** あらかじめ本機と接続してください（☞ P.35）。
- ✔ 予約録音をする場合、安定した受信ができる環境でのご使用をおすすめします。
- ✔ アンテナステーション（同梱）を使用すると、家庭用電源から本機の電源を供給できます（☞ P.18）。
- ✔ あらかじめメモリの残量を確認してください。メモリ残量が無くなると録音が途切れます（☞ P.81、P.82）。

ラジオサーバ　ポケット　アプリケーション「予約設定ツール」(Windows のみ)

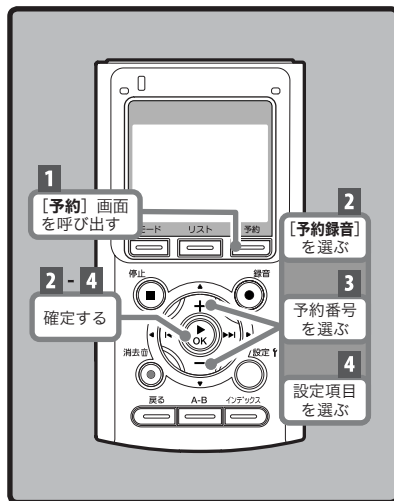
パソコンと接続して予約録音や放送局名の編集などができます。ご入手方法など詳しくは、当社 Web サイトでご確認ください。

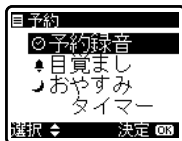
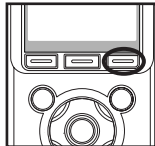
http://olympus-imaging.jp/

ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。

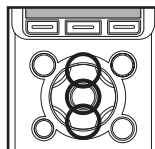
- 受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きで調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください（☞ P.16）。
- パソコン、携帯電話、テレビ、蛍光灯などの電気製品の近くに置いて使用すると、ノイズが発生する恐れがあります。

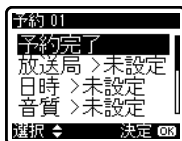
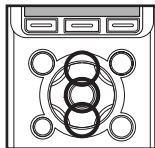
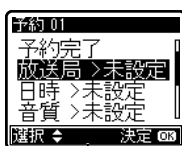
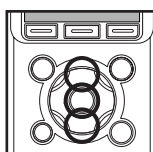
予約録音の設定画面を呼び出す

予約録音は、録音日時を指定して録音する他、曜日を指定して繰り返し録音することもできます。特定の日に放送される番組や同じ時間帯に放送される番組など、目的に合わせて設定できます。

1 **予約**ボタンを押す

・［**予約**］画面に入ります。

・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 **＋またはーボタンを押して［予約録音］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

・［**予約録音**］画面に入ります。

3 **＋またはーボタンを押して予約番号を選び、OK ▶ ボタンを押す**

・ 予約番号は［**01**］～［**20**］の中からお選びいただけます。

4 **＋またはーボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す**

操作ガイド

・ 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。
・ 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

予約録音の設定項目：

［**放送局**］（☞ P.50）

➡ 録音する音源を設定します。

［**日時**］（☞ P.50）

➡ 録音する日時を設定します。

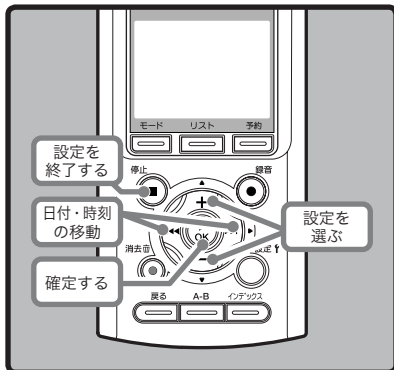
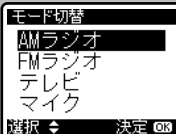
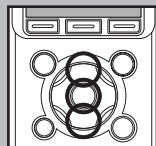
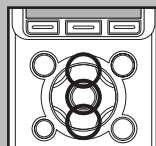
［**音質**］（☞ P.52）

➡ 録音するファイルの音質を設定します。

［**保存先**］（☞ P.52）

➡ 録音するファイルの保存先を設定します。

［**予約完了**］（☞ P.53）

➡ 設定項目の内容を確定します。

予約録音の設定画面の操作

■ 内蔵マイク、外部マイクや他の機器から録音する：

マイクや他の機器から録音する場合、[マイク]を選んでください。

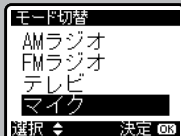
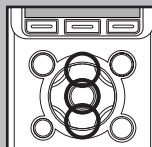
❶ **＋または－ボタンを押して [マイク] を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

[放送局] の設定

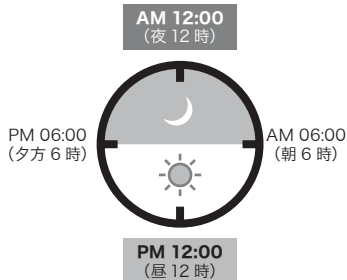
■ 放送番組を録音する：

❶ **＋または－ボタンを押して受信モードを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

❷ **＋または－ボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

AMラジオ局リスト
594KHz NHK第一
693KHz NHK第二
603KHz ラジオ
612KHz ラジオ
選択 決定

[日時] の設定

■ 時刻合わせのときは：

本機はAM（午前）とPM（午後）の12時間制で時刻を表示します。
このため、開始時刻や終了時刻を合わせる場合、午前と午後の12時をお間違えないようご注意ください。

ご注意

・ 夜の12時に予約録音をする場合、開始時刻は[**AM 12:00**]に設定してください。

予約機能を使う

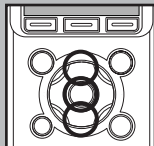
3

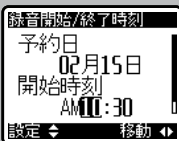
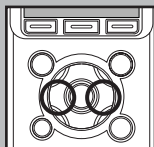
予約録音の設定

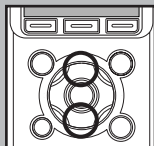
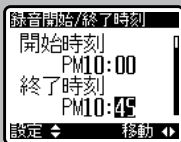
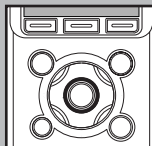
■ **日時を指定する:**

特定の日に放送される番組を予約録音する場合に便利です。

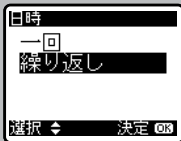
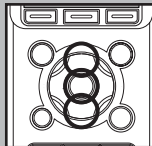
❶ **+または−ボタンを押して［1 回］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

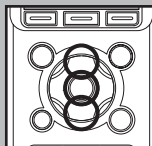
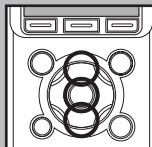
・ 日時を指定して予約録音する場合、［**日時**］を［**1 回**］に設定します。

❷ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押してカーソルを移動させる。**

・ 新たに予約録音を設定する場合、予約日、開始時刻および終了時刻は設定を開始した時刻を表示します。
・ 設定したい項目にカーソルを合わせます。

❸ **+または−ボタンを押して設定する。**

・ 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、+または−ボタンを押して設定します。
・［**AM**］（午前）、［**PM**］（午後）の切り替えは、+または−ボタンを押してください。

❹ **設定が終了したら、OK ▶ ボタンを押す。**

■ **曜日指定を繰り返す:**

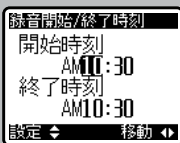
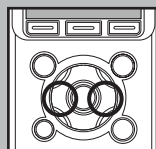
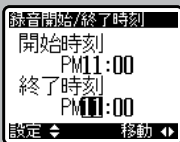
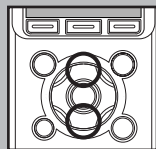
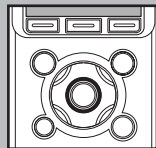
❶ **+または−ボタンを押して［繰り返し］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ 毎回同じ時間に予約録音する場合、［**日時**］を［**繰り返し**］に設定します。

❷ **+または−ボタンを押して曜日を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ 曜日は複数選べます。選んだ曜日にはチェックが付きます。

❸ **曜日の指定が終了したら、+または−ボタンを押して［設定完了］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

❹ ▶▶I または I◀◀ ボタンを押してカーソルを移動させる。

・ 新たに予約録音を設定する場合、開始時刻および終了時刻は設定を開始した時刻を表示します。
・ 設定したい項目にカーソルを合わせます。

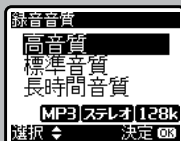
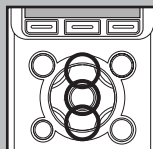
❺ ＋またはーボタンを押して設定する。

・ 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、＋またはーボタンを押して設定します。

❻ 設定が終了したら、OK ▶ ボタンを押す。

［**開始/終了時間が同じです**］と表示された場合、開始時刻と終了時刻を最低1分以上開けてください。

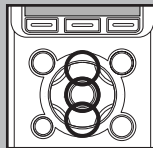
1 件の予約録音は最大 23 時間 59 分まで録音できます。

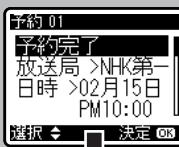
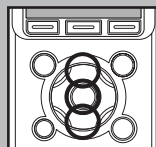
［音質］の設定

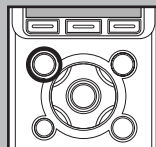
［**録音設定**］での［**録音音質**］の設定が呼び出されます。

❶ ＋またはーボタンを押して音質を選び、OK ▶ ボタンを押す。

［保存先］の設定

［**録音設定**］での［**録音保存先**］の設定が呼び出されます。

❶ ＋またはーボタンを押してフォルダを選び、OK ▶ ボタンを押す。

［予約完了］の設定

❶ **+**または**−**ボタンを押して[**予約完了**]を選び、**OK ▶** ボタンを押す。

❷ **停止（■）ボタンを押して設定を終了する。**

・ ラジオ･テレビ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると予約録音表示が点灯します。

予約録音表示

ご注意

・すべての項目が設定されていない場合、［**未設定項目があります**］と表示されます。［**設定に戻る**］を選び、引き続き設定をしてください。［**設定を終了**］を選ぶと、途中までの設定内容は消去され、「**予約録音の設定画面を呼び出す**」の手順 3 の画面に戻ります（☞ P.49）。

・予約録音の開始時刻が重複している場合、［**予約 02 と重複しています**］のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。開始時刻を誤って設定したため他の予約番号と開始時刻が重複している場合、［**日時**］で正しい時刻を設定し直してください。設定中の予約録音を優先する場合、重複先の予約番号を動作させないようにするか、重複先の予約番号の設定内容を消去をしてから、はじめから設定し直してください（☞ P.54、P.55）。

！ 予約録音の設定を変更する場合、修正したい予約番号を選び、修正する設定項目を変更してください（☞ P.48、P.50）。

ご注意

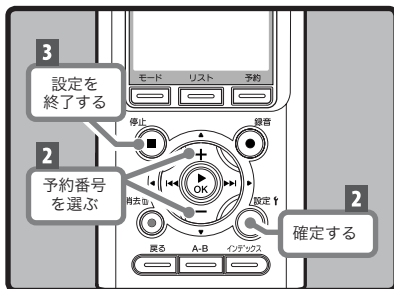
・ 予約録音機能の開始時刻の 5 分前から目覚まし機能を設定した場合、予約録音が優先されます。
・ 予約録音と目覚まし機能の開始時刻が同時刻に設定されている場合、予約録音が優先されます。
・ 予約録音の開始時刻前には、予約録音の保留や中止ができます（☞ P.54、P.63）。
・ ある予約番号の終了時刻と他の予約番号の開始時刻が同じ場合、前の予約録音が設定時刻より早めに終了し、次の予約録音が開始されますのでご注意ください。
・ パソコンと接続している場合、予約録音機能は働きません。
・ ［**予約録音**］の設定のあとに、指定した放送局の登録を消去した場合でも、設定した放送局の周波数で予約録音します。
・ マイクからの録音の場合、マイク感度の設定は［**会議**］に、音声起動録音の設定は［**OFF**］に自動的に設定されます。
・ ［**予約録音**］の設定で［**録音保存先**］や［**音質**］の設定の変更は、通常の［**録音設定**］には反映されません。
・ ファイル件数が最大保存件数 2000 件を超えた場合、予約録音は動作しません。

1 時間あたりのファイル容量（めやす）

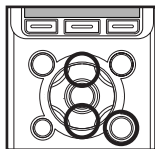
［**高音質**］（MP3 形式）	約 55 MB
［**標準音質**］（MP3 形式）	約 28 MB
［**長時間音質**］（WMA 形式）	約 15 MB

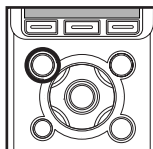
予約番号のオン・オフを切り替える

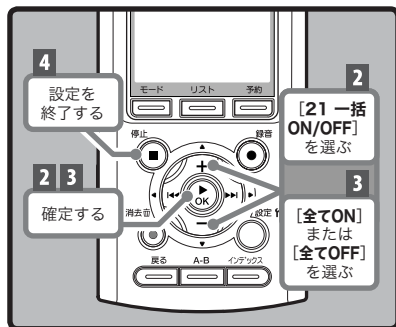
1件ずつ切り替える

すでに設定済みの予約番号のオン・オフを設定できます。

1 **「予約録音の設定画面を呼び出す」の手順 1 から手順 2 まで操作する** (☞ P.49)

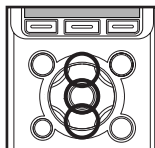
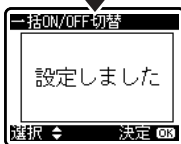
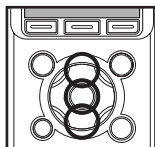
・［**予約録音**］画面に入ります。

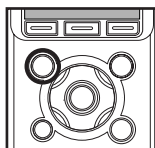
2 **＋または－ボタンを押して設定する予約番号を選び、設定ボタンを押す**

・予約録音の開始時刻が重複している場合、［**予約 02 と重複しています**］のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。この場合、重複先の予約録音をしないようにするか、重複先の予約番号の設定内容を消去してください (☞ P.55)。

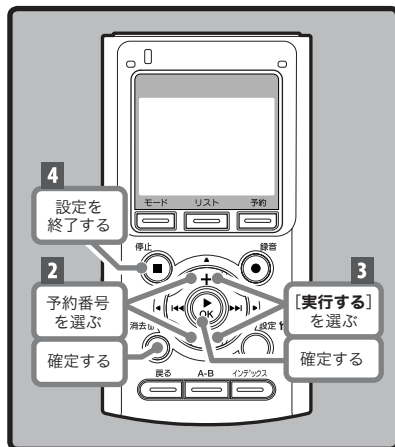
3 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**

一括して切り替える

予約番号を一括して予約録音する・しないを設定できます。

1 **「予約録音の設定画面を呼び出す」の手順 1 から手順 2 まで操作する** (☞ P.49)

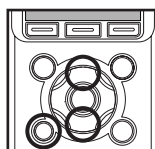
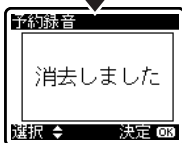
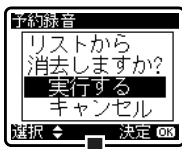
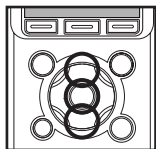
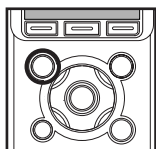
・［**予約録音**］画面に入ります。

2 **＋または－ボタンを押して［21 一括 ON/OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

3 **＋または－ボタンを押して［全て ON］または［全て OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

・ 予約録音の開始時刻が重複している場合、［**重複した予約があります**］と表示されます。重複先がわからない場合などは、［**全て OFF**］を選び、予約録音を1件ずつ［**ON**］に設定して重複を解消してください（☞ P.54）。

4 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**

予約録音の消去

予約番号を選び予約録音の設定内容を消去できます。

1 **「予約録音の設定画面を呼び出す」の手順 1 から手順 2 まで操作する（☞ P.49）**

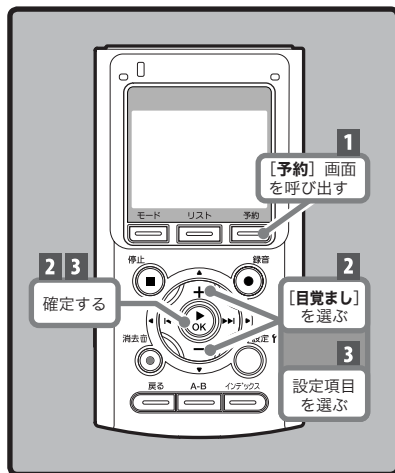
・［**予約録音**］画面に入ります。

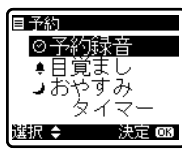
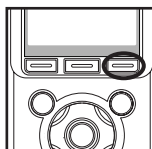
2 **＋または－ボタンを押して消去したい予約番号を選び、消去 㓁（●）ボタンを押す**

3 ＋または－ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

4 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

目覚まし機能

毎朝お好きな放送番組、音楽やアラーム音でお目覚めできます。

ご確認ください

・あらかじめ日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.21、P.64、P.81、P.82）。

目覚まし機能の設定画面を呼び出す

1 **予約ボタンを押す**

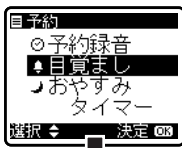
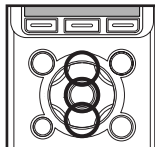
・［**予約**］画面に入ります。

・設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 **+またはーボタンを押して［目覚まし］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

・［**目覚まし設定**］画面に入ります。

3 **+またはーボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す**

操作ガイド

・各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。
・設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

目覚まし機能の設定項目：

［**ON/OFF**］（☞ P.58）

➥ 目覚まし機能を実行する・しないを設定します。

［**音選択**］（☞ P.58）

➥ 再生する音源を設定します。

［**日時**］（☞ P.59）

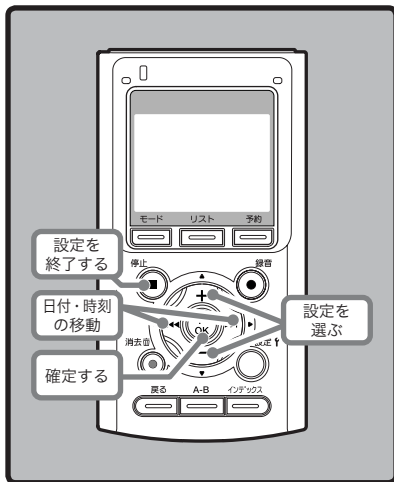
➥ 再生する日時を設定します。

［**音量**］（☞ P.61）

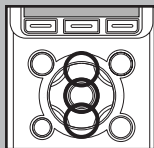
➥ 再生する音量を設定します。

［**設定完了**］（☞ P.61）

➥ 設定項目の内容を確定します。

目覚まし機能の設定画面の操作

[ON/OFF] の設定

目覚まし機能を使う・使わないを選びます。[**OFF**] を選んだ場合でも設定内容は記憶しています。

❶ **+またはーボタンを押して [ON] または [OFF] を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

[**ON**]：目覚まし機能が働きます。
[**OFF**]：機能しません。

[音選択] の設定

■ アラーム音を選ぶ場合：

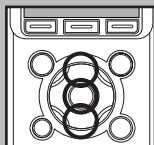
❶ **+またはーボタンを押して [固定パターン] を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

音選択
固定パターン
ラジオ局
録音データ
選択 決定 OK

❷ **+またはーボタンを押してアラーム音を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

固定パターン
固定パターン1
固定パターン2
選択 決定 OK

■ 放送番組を選ぶ場合：

❶ **+またはーボタンを押して [ラジオ局] を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

❷ **+またはーボタンを押して受信モードを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

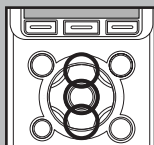
ラジオ局
AMラジオ
FMラジオ
テレビ
選択 決定 OK

❸ **＋または－ボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

■ ファイルを選ぶ場合：

❶ **＋または－ボタンを押して［録音データ］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

❷ **再生するファイルを検索する。**

・ 詳しくは「**ファイル検索画面の操作**」をご覧ください（☞ P.42）。

❸ **＋または－ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

［日時］の設定

■ 日時を指定する場合：

❶ **＋または－ボタンを押して［1 回］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

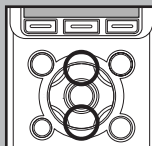
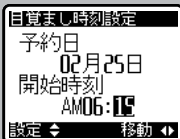
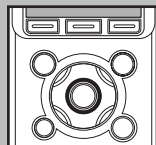
・ 日時を指定して目覚まし機能を使う場合、［**日時**］を［**1 回**］に設定します。

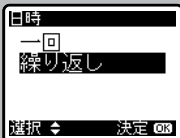
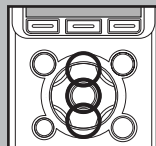
❷ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押してカーソルを移動させる。**

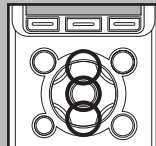
・ 設定したい項目にカーソルを合わせます。

❸ **＋または－ボタンを押して設定する。**

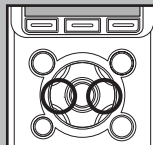
・ 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して設定します。

・ ［**AM**］（午前）、［**PM**］（午後）の切り替えは、＋または－ボタンを押してください。

❹ **設定が終了したら、OK ▶ ボタンを押す。**

■ 曜日指定を繰り返す場合：

❶ **＋または－ボタンを押して［繰り返し］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

❷ **＋または－ボタンを押して曜日を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・ 曜日は複数選べます。選んだ曜日にはチェックが付きます。

❸ **曜日の指定が終了したら、＋または－ボタンを押して［設定完了］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

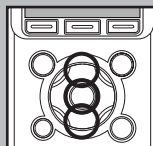
❹ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押してカーソルを移動させる。**

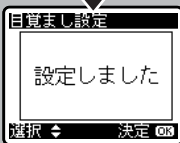
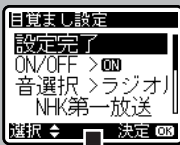
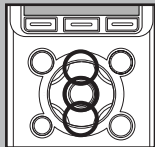
・ 設定したい項目にカーソルを合わせます。

❺ **＋または－ボタンを押して設定する。**

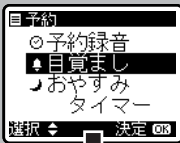
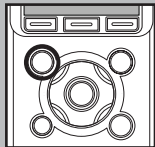
・ 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して設定します。

❻ **開始時刻を設定したら、OK ▶ ボタンを押す。**

［音量］の設定

❶ **＋または－ボタンを押して目覚まし機能の音量を調整し、OK ▶ ボタンを押す。**

［設定完了］の設定

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して［**設定完了**］を選び、**OK** ▶ ボタンを押す。

❷ **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する。

・ ラジオ・テレビ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると目覚まし機能表示が点灯します。

目覚まし機能表示

ご注意

・ すべての項目が設定されていない場合、［**未設定項目があります**］と表示されます。［**設定に戻る**］を選び、引き続き設定をしてください。［**設定を終了**］を選ぶと、途中までの設定内容は消去されます。

ご注意

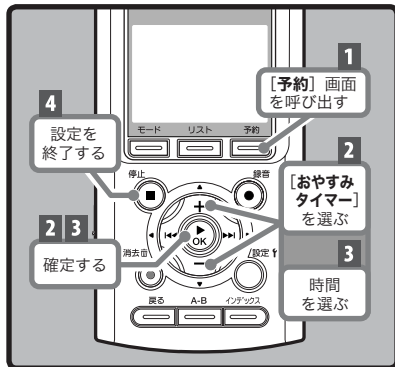
・ 目覚まし機能は再生する音源により再生時間が異なります。
  ・ アラーム音 ：5 分間
  ・ 放送番組 ：5 分間
  ・ ファイル ：再生するファイルの長さ
・ 目覚まし機能が働いたあとに、アラーム音の再生をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください。
・ ［**音選択**］の設定のあとに、指定したファイルや放送局の登録を消去された場合、目覚まし機能の再生音は［**固定パターン 1**］になります。
・ 本機が操作中や動作中の場合、またはパソコンと接続している場合、目覚まし機能は働きません。
・ 予約録音機能の開始時刻の 5 分前から目覚まし機能を設定した場合、予約録音が優先されます。

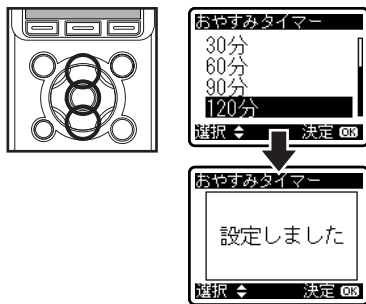
おやすみタイマー

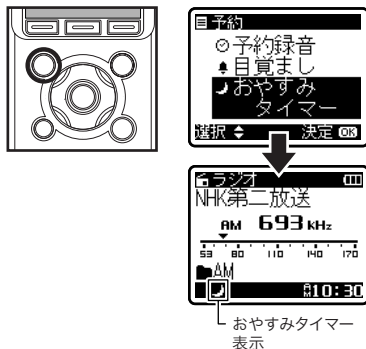
設定した時間が経過すると自動的に本機の電源が切れます。

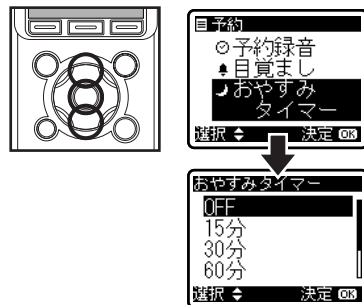
1 **予約**ボタンを押す

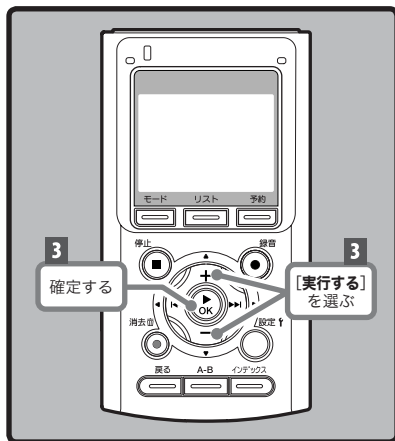
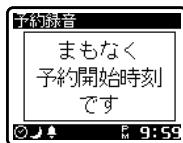
・［**予約**］画面に入ります。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**おやすみタイマー**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

・［**おやすみタイマー**］画面に入ります。

3 **+**または**−**ボタンを押してお好みの時間を選び、OK ▶ ボタンを押す

4 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**

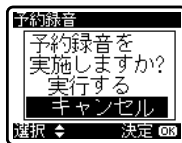
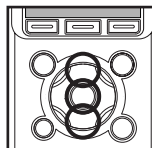
・ラジオ・テレビ受信モード画面やファイル表示画面に戻るとおやすみタイマー表示が点灯します。

ご注意

・パソコンと接続している場合、おやすみタイマー機能は働きません。
・おやすみタイマーとオートパワーオフ機能は、設定時間がより短い方の機能が優先されて働きます。

予約機能の中止

本機を使用中に、予約録音、目覚し機能およびおやすみタイマー機能の開始時刻が来た場合、予約機能を中止できます。

1 予約機能が動作する1分前に確認画面が表示されます

例：予約録音の確認画面

2 いずれかのボタンを押す

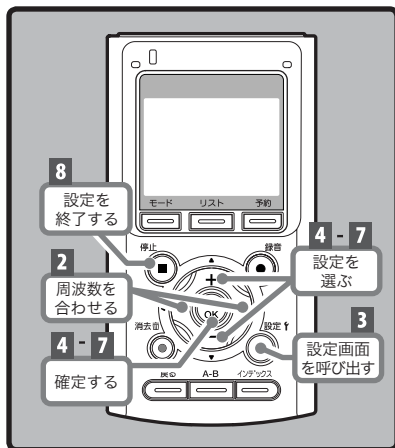
・ **電源／ホールド**スイッチでは操作できません。

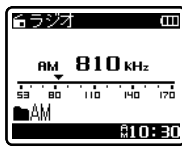
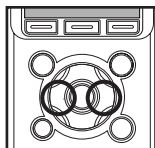
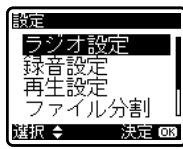
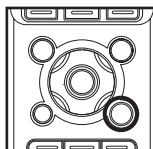
3 **+**または**−**ボタンを押して[**キャンセル**]を選び、OK ▶ ボタンを押す

予約録音を中止する場合

・ 何も操作しない場合、開始時刻になると予約機能が働きます。

ラジオ設定

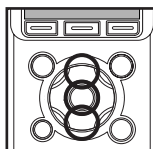
受信放送局を追加する

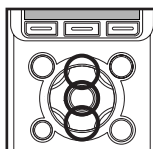
現在の受信周波数を放送局リストに追加できます。

1 **「AM ／ FM ラジオやテレビ放送を聞く」**の手順 1 から手順 2 までを操作する (☞ P.28)

2 **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して追加する放送局に周波数を合わせる**

3 **設定** **ボタンを押す**

・ 設定画面に入ります。

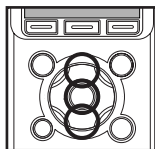
・ 録音中または放送局リスト表示中は設定画面に入れません。

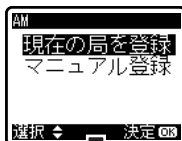
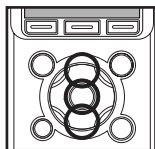
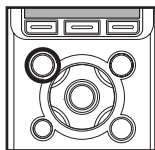
・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

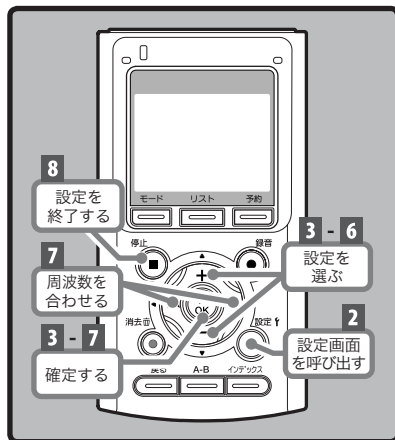
4 **＋または－ボタンを押して［ラジオ設定］を選び、OK ▶ を押す**

5 **＋または－ボタンを押して［ラジオ局登録］を選び、OK ▶ を押す**

・［**ラジオ局登録**］画面に入ります。

・ 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

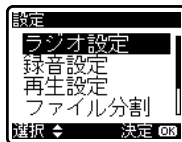
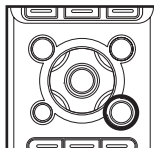
6 **＋**または**－**ボタンを押して**［AM］**または**［FM］**を選び、**OK ▶ ボタンを押す**

・ AM ラジオを受信中に［**FM**］を選ぶと、手順 7 で設定の確定ができません。

7 **＋**または**－**ボタンを押して**［現在の局を登録］**を選び、**OK ▶ ボタンを押す**

・ 現在受信中の周波数が放送局リストに追加されます。

8 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**

放送局を探して追加する

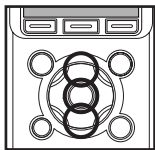
設定画面で放送局を直接探して、放送局リストに追加できます。

1 **「AM ／ FM ラジオやテレビ放送を聞く」の手順 1 から手順 2 までを操作する（☞ P.28）**

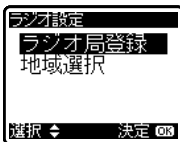
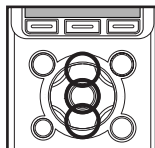
・ AMラジオ受信中にFM放送局は登録できません。

2 **設定 ボタンを押す**

・ 設定画面に入ります。

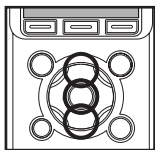
・ 録音中または放送局リスト表示中は設定画面に入れません。

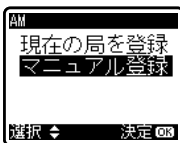
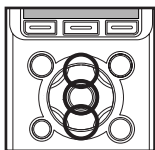
・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

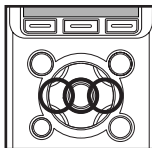
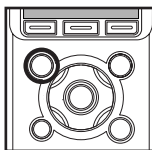
3 **+または−ボタンを押して［ラジオ設定］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

4 **+または−ボタンを押して［ラジオ局登録］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

- ［**ラジオ局登録**］画面に入ります。

- 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

5 **+または−ボタンを押して［AM］または［FM］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

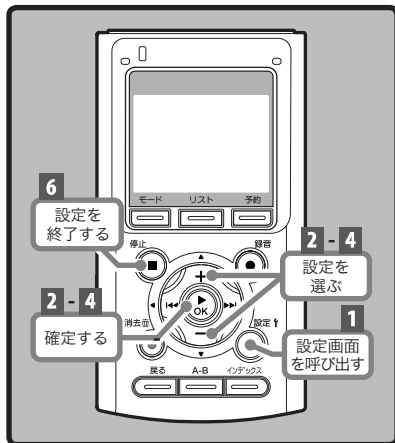
- AM ラジオを受信中に［**FM**］を選ぶと、手順 6 で設定の確定ができません。

6 **+または−ボタンを押して［マニュアル登録］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

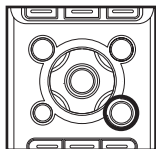
- ［**マニュアル登録**］画面に入ります。

7 **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して追加する放送局に周波数を合わせ、OK ▶ ボタンを押す**

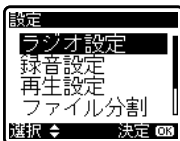
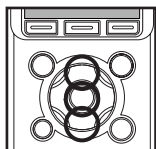
- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると、周波数の増減が速くなります。
- 現在受信中の周波数が放送局リストに追加されます。

8 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**

ご注意

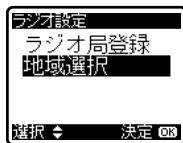
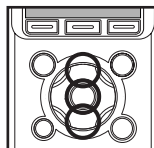
- お探しの周波数が他の放送局で登録済みの場合、［**既に登録されています**］と表示されます。
- AM、FM ラジオとも、それぞれ最大 20 件まで放送局リストに登録できます。
- 登録件数が 20 件を超えると、［**これ以上登録できません**］と表示されます。この場合、放送局リストから不要な登録を消去してください。

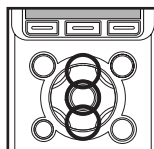
自動登録し直す

放送局リストに、放送局を自動登録できます。

1 **設定** ボタンを押す

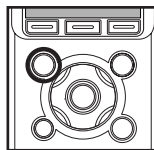
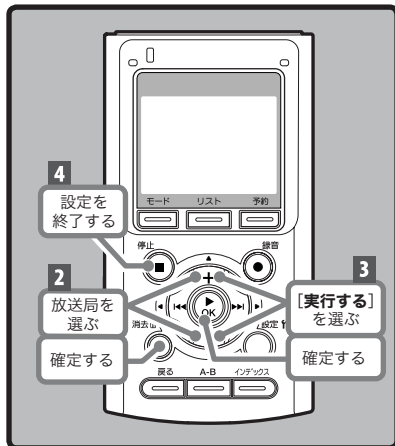
- 設定画面に入ります。

- 録音中または放送局リスト表示中は設定画面に入れません。
- 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 **＋**または**－**ボタンを押して［**ラジオ設定**］を選び、OK ▶ を押す

3 **＋**または**－**ボタンを押して［**地域選択**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- ［**地域選択**］画面に入ります。

- 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

4 **＋**または**－**ボタンを押して［**AM**］または［**FM**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

5 **「放送局を自動登録する」**の手順 4 から手順 8 までを操作する（☞ P.22）

- **初期設定**と同じように、お住まいの地方、都道府県、地域で絞り込みます。
- 追加登録された放送局は削除されます。

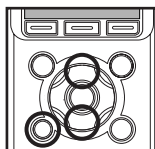
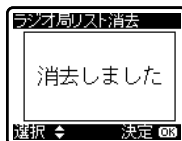
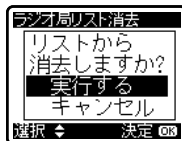
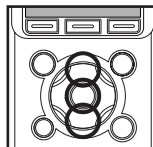
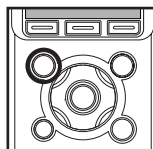
6 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

放送局を消去する

1 **「AM ／ FM ラジオやテレビ放送を聞く」**の手順 1 から手順 3 までを操作する（☞ P.28）

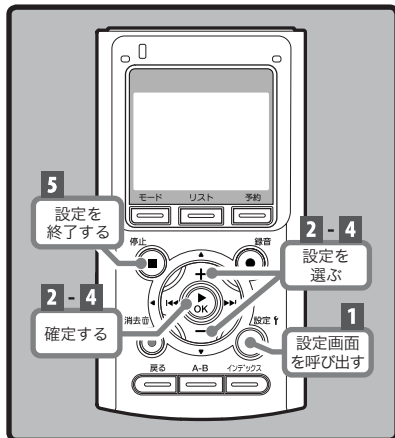
・ 放送局リストに入ります。

2 **+**または**−**ボタンを押して消去する放送局を選び、**消去** 🗑（●）ボタンを押す

3 **+**または**−**ボタンを押して**［実行する］**を選び、OK ▶ ボタンを押す

4 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

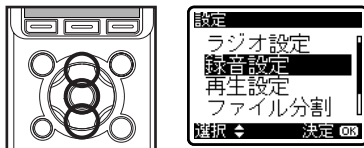
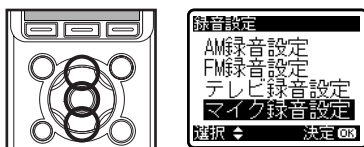
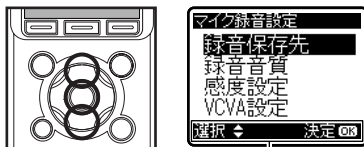
設定機能を使う
4
ラジオ設定

録音設定

設定するモードごとに、録音時の保存先、録音音質についてそれぞれ設定できます。

1 **設定** ボタンを押す

・ 設定画面に入ります。

・ 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**録音設定**］を選び、OK ▶ を押す

・［**録音設定**］画面に入ります。

3 **+**または**−**ボタンを押して設定する音源を選び、OK ▶ ボタンを押す

4 **+**または**−**ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

操作ガイド

・ 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。
・ 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

録音に関する設定項目：

［**録音保存先**］

➥ ファイルの保存先を設定できます。

［**録音音質**］

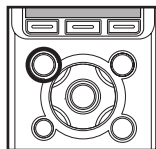
➥ 音質を設定できます。

［**感度設定**］(☞ P.71)

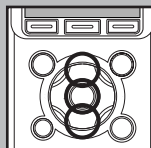
➥ 使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度の切り替えができます（マイク録音設定時のみ）。

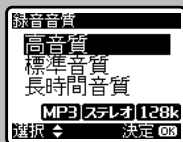
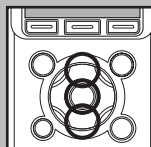
［**VCVA**］(☞ P.71)

➥ VCVA 機能を使用する・使用しないをお選びいただけます（マイク録音設定時のみ）。

5 停止（■）ボタンを押して設定を終了する

［録音保存先］の設定

ファイルの保存先を設定できます。

1 +または−ボタンを押してフォルダを選び、OK ▶ ボタンを押す。

［録音音質］の設定

1 +または−ボタンを押して音質を選び、OK ▶ ボタンを押す。

［**高音質**］：
MP3 形式でステレオ高音質録音します。

［**標準音質**］：
MP3形式でモノラル標準音質録音します。

［**長時間音質**］：
WMA 形式でモノラル長時間録音します。

・Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。ご使用のパソコンの環境やソフトウェアなどに合わせてお選びください。

ご注意

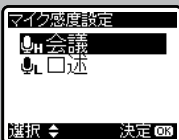
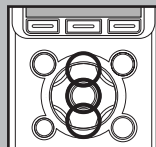
・設定した録音音質により最大録音時間は異なります。詳しくは「**1 ファイルあたりの最長録音時間**」をご覧ください (☞ P.109)。

・会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、[**録音音質**]の設定で[**高音質**]または[**標準音質**]を選んで録音してください。
・[**録音音質**]の設定でステレオ録音方式を選んで録音すると、モノラルマイクを接続した場合、L チャンネルのみに音声が録音されます。

[感度設定]の設定

使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度の切り替えができます。

・[**マイク録音設定**]を選んだときのみ設定できます。

1 +または−ボタンを押して[会議]または[口述]を選び、OK ▶ ボタンを押す。

[**会議**]:打合せや少人数の会議などの録音に適しています。
[**口述**]:メモ録などの口述録音に適しています。

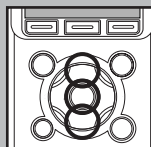
ご注意

・話し手の声をはっきりと録音したい場合、[**感度設定**]での設定で[**口述**]を選び、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて(5 〜 10cm)録音してください。

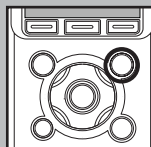
[VCVA]の設定

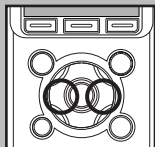
音声起動録音(VCVA)とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

・[**マイク録音設定**]を選んだときのみ設定できます。

1 +または−ボタンを押して[ON]または[OFF]を選び、OK ▶ ボタンを押す。

[**ON**]:VCVA が機能します。
VCVA の音声起動レベルは調整できます。
[**OFF**]:機能しません。通常の録音に戻ります。

■ 音声起動レベルの調整:

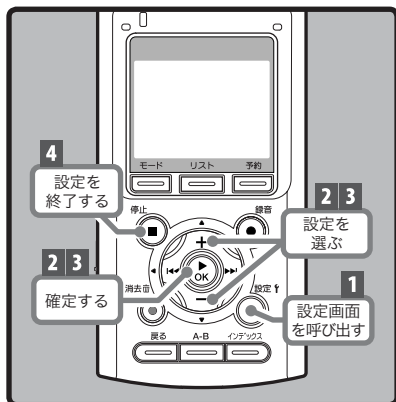
1 録音(●)ボタンを押して録音を開始する

・設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。この場合、録音レベルメータと［**VCVA 待機中**］が交互に点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

❷ 録音中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する

・VCVA の音声起動レベルを 15 段階（［**01**］～［**15**］）で表示します。
・数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ご注意

・音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります (☞ P.71)。
・音声起動レベルの調整画面で 2 秒間操作がない場合、表示が元に戻ります。
・まわりのノイズが大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
・失敗のない録音のため、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。
・ラジオ・テレビ受信モードでは、VCVA 機能は働きません。

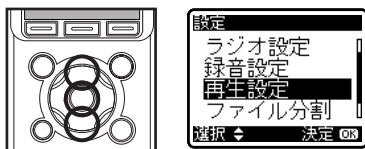
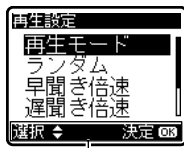
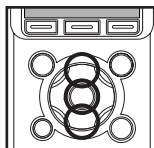
再生設定

用途に合わせてランダム／リピート再生や、再生速度を設定できます。ファイルを再生する前に設定してください。

1 **設定 ボタンを押す**

・ 設定画面に入ります。

・ 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 **＋または－ボタンを押して［再生設定］を選び、OK ▶ を押す**

・［**再生設定**］画面に入ります。

3 **＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す**

操作ガイド

・ 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。
・ 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

再生に関する設定項目：

［**再生モード**］(☞ P.74)

➡ お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

［**ランダム**］(☞ P.74)

➡ ランダム再生を設定できます。

［**早聞き倍速**］、［**遅聞き倍速**］(☞ P.74)

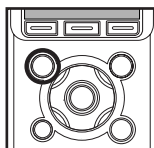
➡ 再生スピードを 0.5 倍速～ 2 倍速の間で変更できます。

［**少し前再生**］(☞ P.75)

➡ 再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生できる機能です。

［**しおり機能**］(☞ P.75)

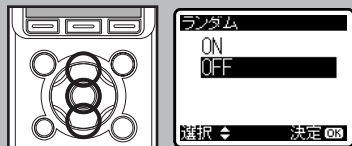
➡ ファイルごとに最後に聞いた位置に、しおり(ブックマーク) をつけることができます。

4 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**

[再生モード］の設定

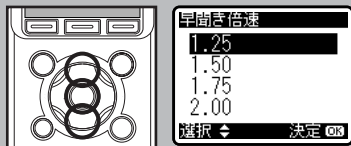
❶ ＋または－ボタンを押して再生モードを選び、OK ▶ ボタンを押す。

［**ファイル**］:現在のファイルを再生後に停止。
［**ファイルリピート**］：現在のファイルを繰り返して再生。
［**フォルダ**］：現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止。
［**フォルダリピート**］：現在のフォルダ内の全ファイルを繰り返し連続再生。

[ランダム］の設定

❶ ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す。

［**ON**］：現在の再生モードでランダム再生をします。
［**OFF**］：ランダム再生しません。

[早聞き倍速］、[遅聞き倍速］の設定

❶ ＋または－ボタンを押してお好みの再生速度を選び、OK ▶ ボタンを押す。

［**早聞き倍速**］を選んだ場合

■ 遅聞き・早聞き再生のしかた：

❶ 再生中に OK ▶ ボタンを押して、再生スピードを切り替える。

通常再生：
普通の再生スピードです。

遅聞き再生：
再生スピードが遅くなり、［S］表示が点灯します。

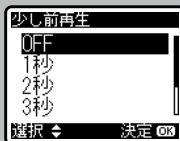
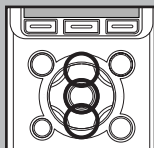
早聞き再生：
再生スピードが早くなり、［F］表示が点灯します。

ご注意

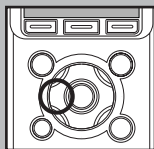
・早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックス（☞ P.39）の挿入などの操作ができます。
・再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次に再生するときも変更した早さを保持します。
・再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートにより正常に動作しなことがあります。この場合、早聞き再生の速度を落として再生してください。

[少し前再生] の設定

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻って再生できる機能です。重要なセンテンスや短いフレーズを繰り返し確認したい場合に便利です。

1 +または−ボタンを押してお好みの時間を選び、OK ▶ ボタンを押す。

・通常の再生をする場合、[**OFF**] をお選びください。

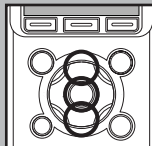
■ 少し前再生のしかた:

1 再生中に I◀◀ ボタンを押して、少し前再生をする。

ご注意

・[**少し前再生**] の設定で [**OFF**] 以外を選んだ場合、I◀◀ ボタンを押しても頭出しや、インデックスマークの位置に逆スキップしません。設定した時間 (1 秒間から 10 秒間) だけ逆スキップをします。

[しおり機能] の設定

ファイルごとに最後に聞いた位置に、しおり (ブックマーク) をつけることができます。

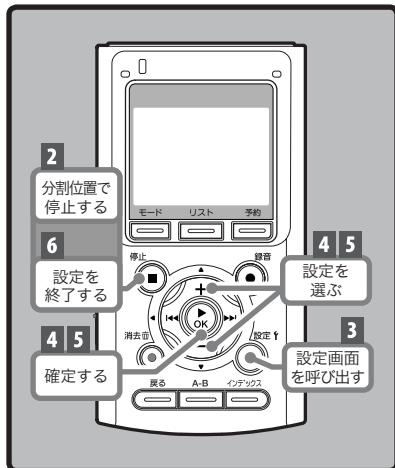
1 +または−ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。

[**ON**]:他のファイルに再生を切り替えた場合、そのファイルに記憶されているしおり位置を呼び出して再生できます。また、電源を切ってもしおり位置を記憶し、次に電源を入れたときに続きから再生できます。

[**OFF**]:しおり機能は働きません。

ご注意

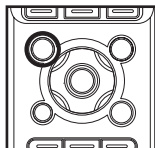
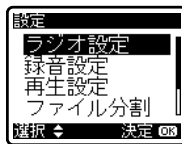
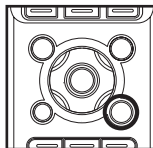
・ファイルを最後まで再生した場合、そのファイルの最初にしおり位置が戻ります。

ファイル分割

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割すると管理がしやすくなります。

ファイル分割できるファイルは本機で録音した MP3 形式のみです。

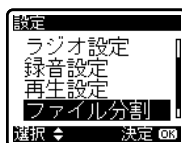
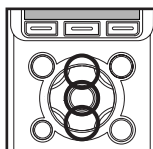
1 **「ファイル検索」**の操作をしてファイルを選ぶ (☞ P.41 ～ P.44)

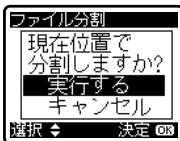
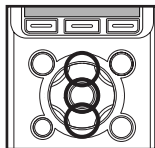
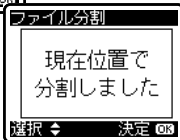
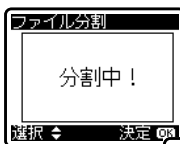
2 ファイル分割する位置で、**停止 (■)** ボタンを押して再生を停止する

・ ファイル表示画面での停止位置が分割位置になります。

・ ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします (☞ P.37)。
・ 分割位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくと便利です (☞ P.39)。

3 停止中に**設定** ボタンを押す

・ 設定画面に入ります。

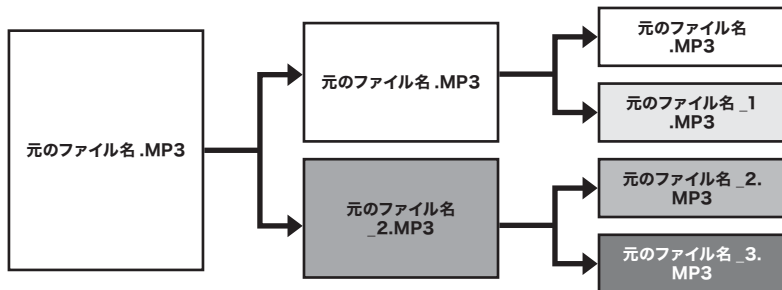
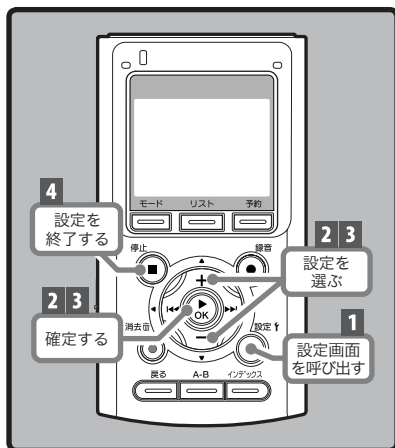
・ 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

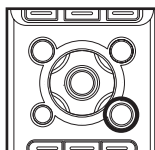
4 **＋**または**－**ボタンを押して［**ファイル分割**］を選び、OK ▶ を押す

・ 本機が再生中など動作中の場合、ファイルを分割できません。

5 **+**または**−**ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ を押す

・ 画面が［**分割中！**］に切り替わり、処理を開始します。［**現在位置で分割しました**］と表示されたら終了です。

ご注意

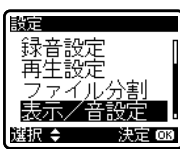
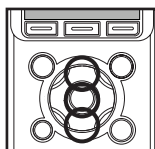
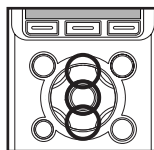
- 本機で録音していない MP3 形式ファイルの分割は保証しておりません。また、本機で録音した MP3 形式ファイルでもパソコンに転送してから本機に戻した場合、分割は保証しておりません。
- 消去ロックがかかっているファイルは分割できません（☞ P.81、P.85）。
- MP3 ファイルを選んだときでも、ファイルの長さが極端に短い場合、ファイルを分割できないことがあります。
- ファイル件数の総数が 2000 件に達している場合、ファイルを分割できません。
- 分割を指定した位置と実際に分割される位置には、数秒のズレがあります。
- 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることのないように、操作の前にあらかじめ新しい電池に交換してください。

ファイルの最大分割数とファイル名について

1つの録音ファイルは最大で4分割までできます。また、分割位置より後半のファイル名は下記のように自動的に変更されます。

表示／音設定

1 **設定** ボタンを押す

・ 設定画面に入ります。

・ 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 **+**または**−**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選び、OK ▶ を押す

・［**表示／音**］画面に入ります。

3 **+**または**−**ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

・ 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。
・ 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

表示／音に関する設定項目：

［**コントラスト**］(☞ P.79)

➡ 画面のコントラストを 11 段階に調整できます。

［**ビープ音**］(☞ P.79)

➡ ビープ音の設定ができます。

［**バックライト**］(☞ P.79)

➡ バックライトの設定ができます。

［**LED**］(☞ P.80)

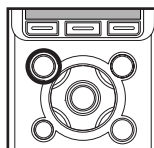
➡ 録音表示ランプの設定ができます。

［**AM 画面表示**］（☞ P.80）

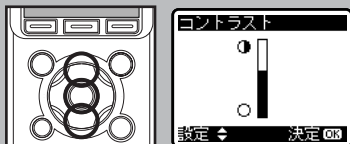
➡ AM ラジオ受信モードで画面を表示させる・させないを設定できます。

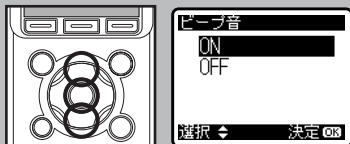
［**スピーカ出力**］（☞ P.80）

➡ 内蔵スピーカの設定ができます。

4 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

[コントラスト] の設定

画面のコントラストを 11 段階に調整できます。

❶ **＋または－ボタンを押してコントラストを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

[ビープ音] の設定

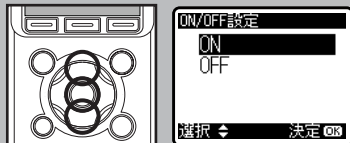
❶ **＋または－ボタンを押して音を出す・出さないを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

[**ON**] ：ビープ音が鳴ります。
[**OFF**] ：ビープ音は鳴りません。

[バックライト] の設定

ボタンを押すたびに画面のバックライトが約 5 秒間（初期設定）点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

■ 点灯する・しないを設定する：

❶ **＋または－ボタンを押して [ON/OFF 設定] を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

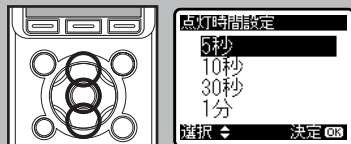
❷ **＋または－ボタンを押して点灯する・しないを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

[**ON**] ：バックライトが点灯します。
[**OFF**] ：バックライトは点灯しません。

ご注意

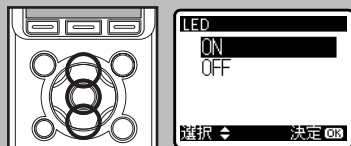
・AM ／ FM ラジオやテレビ放送を録音中は常時バックライトがオフになります。

■ 点灯時間を設定する：

❶ **＋または－ボタンを押して [点灯時間設定] を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

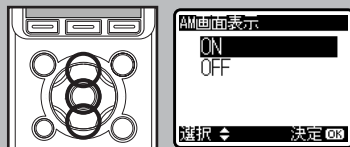
❷ **+または−ボタンを押して点灯時間を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

［LED］の設定

録音表示ランプを点灯しないように設定できます。

❶ **+または−ボタンを押して点灯する・しないを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

［**ON**］: 録音表示ランプが点灯します。
［**OFF**］: 録音表示ランプは点灯しません。

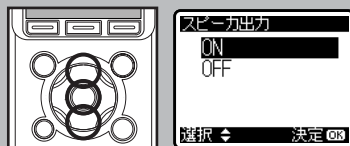
［AM 画面表示］の設定

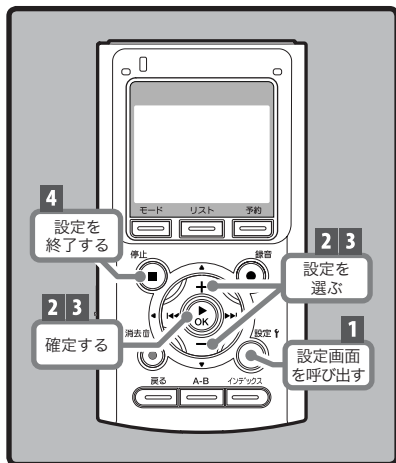
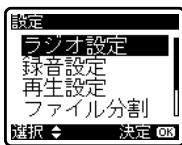
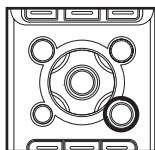
AM ラジオを受信しているときにノイズが入る場合、表示画面を消灯するとノイズを軽減できることがあります。

❶ **+または−ボタンを押して点灯する・しないを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

［**ON**］: 常に画面を点灯します。
［**OFF**］:AM ラジオ受信モードになると画面が消灯します。

［スピーカ出力］の設定

イヤホンを取り外した場合の内蔵スピーカの設定ができます。

❶ **+または−ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

［**ON**］: 内蔵スピーカから音を出します。イヤホンを接続した場合、内蔵スピーカから音は出ません。
［**OFF**］: 内蔵スピーカから音は出ません。

その他の設定

4 設定を終了する
2 3 設定を選ぶ
2 3 確定する
1 設定画面を呼び出す

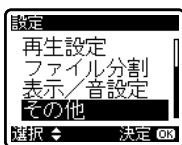
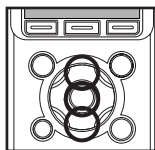
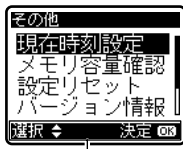
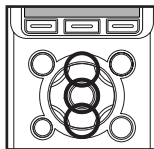
モード　リスト　予約
停止　録音　消去　設定　戻る　A-B　インデックス

1 設定 ボタンを押す

・ 設定画面に入ります。

・ 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
・ 設定を途中で止める場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 ＋または－ボタンを押して［**その他**］を選び、OK ▶ を押す

・［**その他**］画面に入ります。

3 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

操作ガイド

・ 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。
・ 設定の途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

その他の設定項目：

［**現在時刻設定**］（☞ P.82）

➥ 本機の時刻合わせができます。

［**メモリ容量確認**］（☞ P.82）

➥ 本機のメモリ残量を確認できます。

［**設定リセット**］

➥［**設定リセット**］（☞ P.82）
各種機能を初期値に戻します。

➥［**初期化**］（☞ P.84）
初期化（フォーマット）をします。

［**バージョン情報**］（☞ P.84）

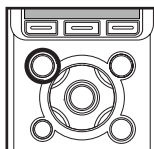
➥ 本機の情報を確認できます。

［**消去ロック**］（☞ P.85）

➥ ファイルに消去ロックをかけます。

［**オートオフ**］（☞ P.85）

➥ オートパワーオフ機能の設定をします。

4 停止（■）ボタンを押して設定を終了する

[現在時刻設定] の設定

本機の時刻合わせができます。「**年**」、「**月**」、「**日**」、「**時**」、「**分**」を設定します。

❶ **►►I または I◄◄ ボタンを押してカーソルを移動させます。**
・ 設定したい項目にカーソルを合わせます。

❷ **+または−ボタンを押して設定する。**
・ 以下同じように ►►I または I◄◄ ボタンで次の設定項目を選び、**+**または**−**ボタンを押して設定します。
・ [**AM**] (午前)、[**PM**] (午後) の切り替えは、**+**または**−**ボタンを押してください。

❸ **日付・時刻を設定したら、OK ► ボタンを押す。**

[メモリ容量確認] をする

本機のメモリ残量およびファイル件数を確認できます。

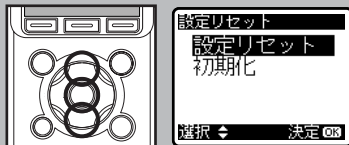
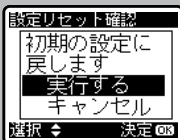
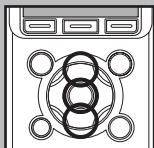
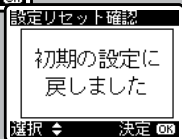
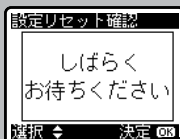
❶ **メモリ残量を確認したら、OK ► ボタンを押す。**

[設定リセット] の設定

各種機能を初期値に戻したり、初期化 (フォーマット) をします。

■ 各種設定を初期値に戻す:

放送局リスト、予約録音リストおよび各種設定を初期化します。リセット後は設定をし直してください。

❶ **+または−ボタンを押して [設定リセット] を選び、OK ► ボタンを押す。**

❷ ＋または－を押して［**実行する**］を選び、**OK** ▶ ボタンを押します。

・画面が［**しばらくお待ちください**］に切り替わり、処理を開始します。［**初期の設定に戻しました**］と表示されたら終了です。

ご注意

- 設定リセットの処理が終了すると、初期設定画面に切り替わります。初期設定をしてください（☞ P.21）。
- 設定リセットしたあとの初期値は、「**設定リセット後の初期値**」をご覧ください。

設定リセット後の初期値：

● ［**録音設定**］（☞ P.69）

［**AM録音設定**］
- ［**録音保存先**］　［**AM**］
- ［**録音音質**］　［**標準音質**］

［**FM録音設定**］
- ［**録音保存先**］　［**FM**］
- ［**録音音質**］　［**高音質**］

［**テレビ録音設定**］
- ［**録音保存先**］　［**TV**］
- ［**録音音質**］　［**標準音質**］

［**マイク録音設定**］
- ［**録音保存先**］　［**MIC**］
- ［**録音音質**］　［**高音質**］
- ［**感度設定**］　［**会議**］
- ［**VCVA 設定**］　［**OFF**］

● ［**再生設定**］（☞ P.73）

- ［**再生モード**］　［**ファイル**］
- ［**ランダム**］　［**OFF**］
- ［**早聞き倍速**］　［**1.5**］
- ［**遅聞き倍速**］　［**0.75**］
- ［**少し前再生**］　［**OFF**］
- ［**しおり機能**］　［**OFF**］

● ［**表示／音設定**］（☞ P.78）

- ［**コントラスト**］　［**05**］
- ［**ビープ音**］　［**ON**］
- ［**バックライト**］
  - ［**ON/OFF 設定**］　［**ON**］
  - ［**点灯時間設定**］　［**5 秒**］
- ［**LED**］　［**ON**］
- ［**AM 画面表示**］　［**ON**］
- ［**スピーカ出力**］　［**ON**］

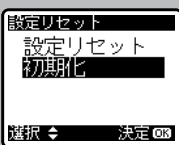
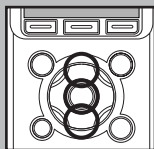
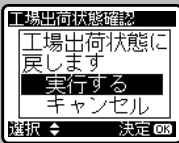
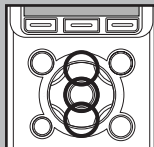
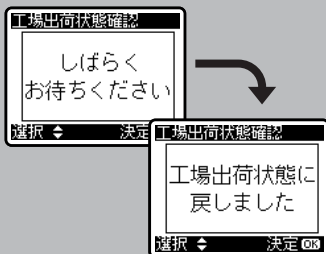
● ［**その他**］（☞ P.81）

- ［**バージョン情報**］　［**1.00**］
- ［**オートオフ**］　［**5 分**］

■ 初期化（フォーマット）する

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

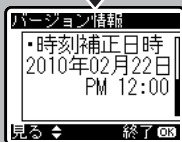
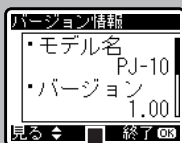
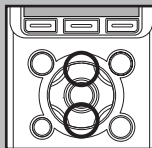
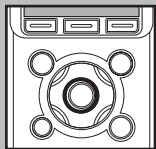
放送局リスト、予約録音リストおよび各種設定を初期化します。リセット後は設定をし直してください。

❶ **+またはーボタンを押して［初期化］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

❷ **+またはーボタンを押して［実行する］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

・［**しばらくお待ちください**］と［**設定終了後は電源が切れます**］が交互に切り替わり、処理を開始します。［**工場出荷状態に戻しました**］と表示されたら電源が切れます。

ご注意

- 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることのないように、操作の前にあらかじめ新しい電池に交換してください。
- 初期化をすると、消去ロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 一度初期化をすると、DRM 付き音楽ファイルを再び本機へ転送できなくなる場合があります。

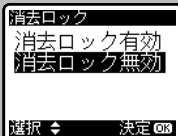
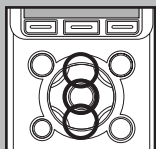
［バージョン情報］を確認する

設定画面から本機の情報を確認できます。

❶ **+またはーボタンを押して情報を切り替える。**

❷ 内容を確認したら、OK ▶ ボタンを押す。

［消去ロック］の設定

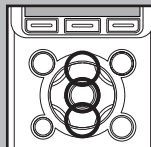
ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去をしても消去されません (☞ P.46)。

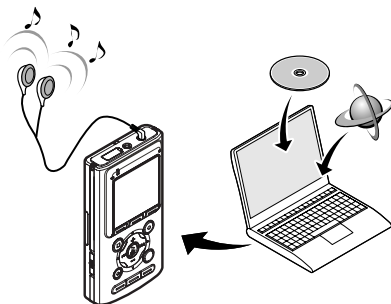
❶ **設定** ボタンを押す前に**「ファイル検索」**の操作をしてファイルを選ぶ (☞ P.41 ～ P.44)。

❷ ＋または－ボタンを押して**［消去ロック有効］**または**［消去ロック無効］**を選び、OK ▶ ボタンを押します。

［**消去ロック有効**］:消去ロックがかかります。
［**消去ロック無効**］：消去ロックが解除されます。

［オートオフ］の設定

電源を入れ、プレイヤーモードで停止状態が続くと自動的に電源が切れます。お好みの時間を設定できます。

❶ ＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。

パソコンで使う

・Windows Media Player または iTunes を使って、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理できます (☞ P.91、P.98)。
・本機は MP3、WMA 形式の語学コンテンツに対応しています。
・本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます (☞ P.90、P.103)。

パソコンの動作環境

Windows

OS (オペレーティングシステム) :
Microsoft Windows 2000/XP/Vista/7
標準インストール (日本語版)

対応パソコン :
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した
Windows 対応パソコン

Macintosh

OS (オペレーティングシステム) :
Mac OS X 10.2.8 ～ 10.6
標準インストール (日本語版)

対応パソコン :
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した
Apple Macintosh シリーズ

ご注意

・ 本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。
・ 動作環境を満たしていても、OS をアップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコン、NEC PC-98 シリーズとその互換機については動作保証外とさせていただいています。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.89 に記載の方法で操作してください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されない恐れがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］画面から操作してください（☞ P.81、P.84）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなる場合があります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼす恐れがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを外してください。

著作権と著作権保護機能 (DRM) について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽 CD などの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的とした MP3、WMA ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。

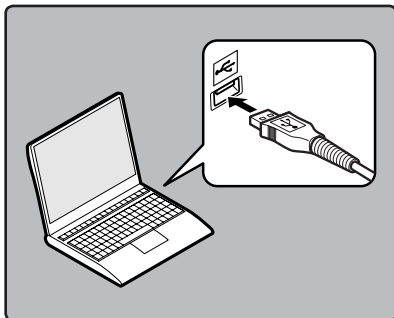
WMA ファイルには著作権の保護を目的とした DRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽 CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信により入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。 DRM の施された WMA ファイルを本機に転送するには Windows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

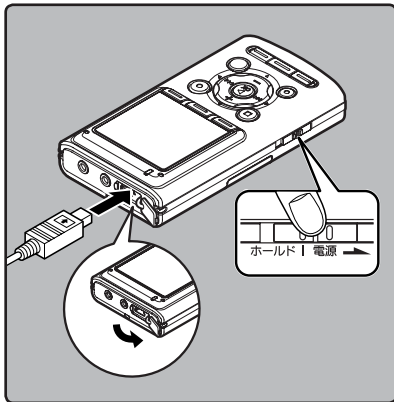
ご注意

- 本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンのUSB 端子に接続する

3 本機の電源が切れていることを確認し、本機上面の USB 端子へUSB 接続ケーブルを接続する

- 録音中や再生中の他、ラジオやテレビを受信している場合、パソコンが本機を認識できません。
- ラジオやテレビを受信している場合、［**プレイヤー**］モードに切り替え、本機が停止していることをご確認ください。

- USB 接続中は、［**PC と接続中です**］と表示されます。

Windows：
［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

Macintosh：
Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

ご注意

- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンと接続すると、付属の USB 接続ケーブルから電源を供給します。本機に電池や AC アダプタからの電源供給は必要ありません。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になる恐れがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- ホールド機能はあらかじめ解除してください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［ ］をクリックし、［**USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します**］をクリックする

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウの表示の確認をしたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の録音表示ランプが消灯していることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 本機の録音表示ランプが消灯していることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

ご注意

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

録音したファイルをパソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.88)

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 製品名のドライブをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.89)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.88)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.89)

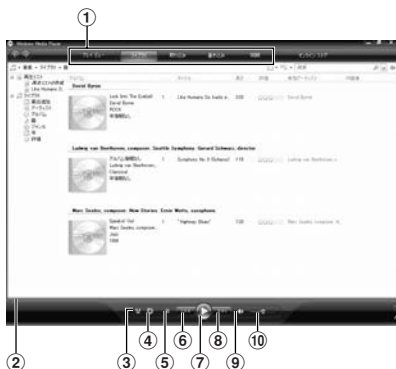
ご注意

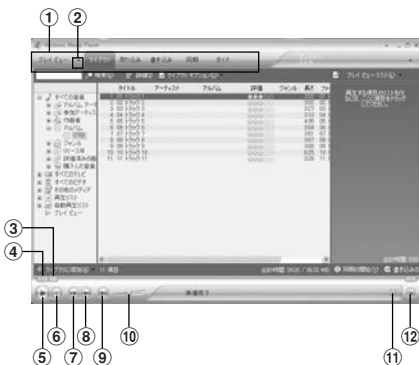
- 本機の［**AM**］、［**FM**］、［**TV**］、［**MIC**］、［**MUSIC**］や［**SYSTEM**］のデフォルトフォルダを削除しないでください。正常に動作しない場合があります。
- データ通信中は［**データを転送中です**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。

Windows Media Player を使う

Windows Media Player を使用して、音楽CDや語学 CD からパソコンに取り込んだり (☞ P.92)、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルや語学コンテンツを本機に転送して再生できます (☞ P.93)。本機で録音したファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます (☞ P.96)。本機は MP3、WMA 形式の音楽ファイルに対応しています。

ウィンドウのなまえ

Windows Media Player 11

① 機能タスクバー
② 位置スライダ
③ ランダム再生ボタン
④ 連続再生ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 前へボタン
⑦ 再生ボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ

Windows Media Player 10

① 機能タスクバー
② クイックアクセスパネルボタン
③ 位置スライダ
④ 巻き戻しボタン
⑤ 再生ボタン
⑥ 停止ボタン
⑦ 前へボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ
⑪ ランダム再生 / 連続再生ボタン
⑫ 早送りボタン

ご注意

• Windows 2000 をご使用の場合、あらかじめ Windows Media Player をインストールする必要があります。

CD から音楽をコピーする

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

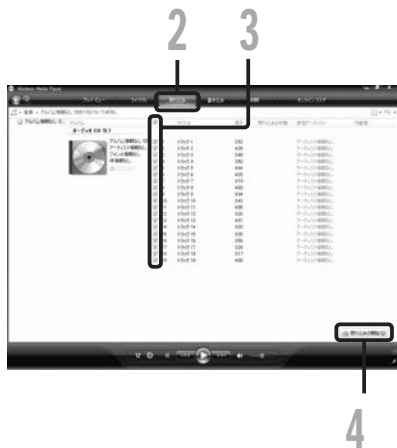
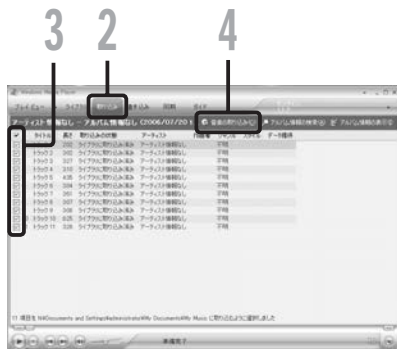
2 機能タスクバーから［**取り込み**］メニューをクリックする

- Windows Media Player 10 の場合、［**取り込み**］メニューをクリックしてから、必要に応じて［**アルバム情報の表示**］をクリックしてください。
- インターネットに接続できる場合、自動的に CD の情報が検索されます。

3 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

4［**取り込みの開始**］をクリックする

- Windows Media Player 10 の場合、［**音楽の取り込み**］をクリックします。
- パソコンにコピーされたファイルは WMA 形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。

Windows Media Player 11

Windows Media Player 10

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は［**CD から音楽をコピーする**］をご覧ください（☞ P.92）。

Windows Media Player 11

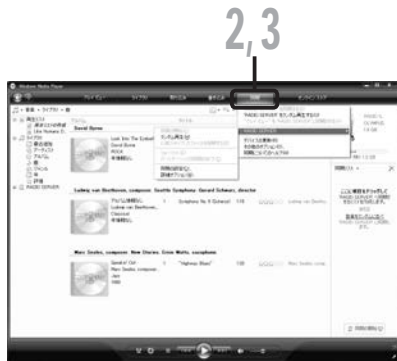
1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**同期**］メニューをクリックする

3 再度［**同期**］メニューをクリックし、［RADIO SERVER］➔［**詳細オプション**］➔［**同期の設定**］と選び、以下の設定をする

- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。
  *** 1 *2**
- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

***1** フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

***2** 本機への同期転送後、［WMPInfo.xml］という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度 *1 の設定が必要になる場合があります。

4 左側の［**ライブラリ**］からお好みのカテゴリーを選び、本機に転送したい音楽ファイルまたはアルバムを選んだら、右側の［**同期リスト**］にドラッグ&ドロップする

5［**同期の開始**］をクリックする

- ファイルが本機に転送されます。

Windows Media Player 10

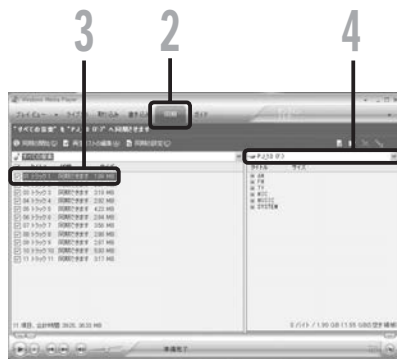
1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**同期**］メニューをクリックする

3 左側のプルダウンメニューから本機に転送するプレイリストを選び、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

- 表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ&ドロップすると曲順を変更できます。

4 右側のプルダウンメニューから本機に対応するドライブを選ぶ

- 通常本機は製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

5 右上の［ ］をクリックして、同期オプションを設定する

- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。*** 1 *2**
- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

***1** フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

***2** 本機への同期転送後、WMPInfo.xml という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度 ***1** の設定が必要になる場合があります。

6［**同期の開始**］をクリックする

- ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはデバイス上の項目に表示されます。

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス(本機) へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。
- **Windows Media Playe 9 を使用しての転送方法は、当社 Web サイトでご確認ください。**
  http://olympus-imaging.jp/
- 音楽ファイルをメモリ容量いっぱいまで転送すると、［**管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを消去して下さい**］と表示される場合があります。この場合、ファイルを消去して管理ファイルの空き容量 (数百 KB 〜数十 MB) を確保してください (管理ファイルの容量は音楽ファイルの数が増えるほど、多く必要になります)。

ファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は［**ファイルをパソコンに取り込む**］をご覧ください (☞ P.90)。

Windows Media Player 11

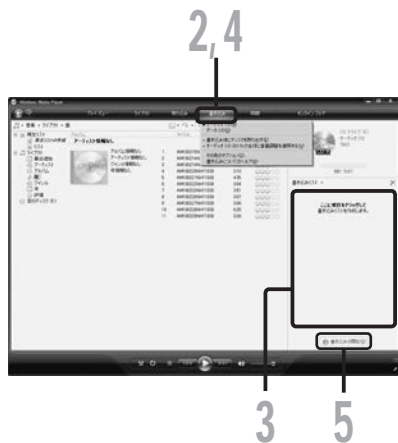
1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**書き込み**］メニューをクリックする

3 左側の［**ライブラリ**］からお好みのカテゴリーを選び、CD-R/RW にコピーしたいファイルまたはアルバムを選び、右側の［**書き込みリスト**］にドラッグ&ドロップする

4 再度［**書き込み**］メニューをクリックし、［**オーディオ CD**］か［**データ CD**］を選ぶ

［オーディオ CD］を選んだ場合：
CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：
録音したときのファイル形式でコピーします。

5 ［**書き込みの開始**］をクリックする

Windows Media Player 10

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**書き込み**］メニューをクリックする

- ［**書き込み**］メニューをクリックしてから、必要に応じて［**再生リストの編集**］をクリックしてください。
- ファイルをドラッグ＆ドロップすると、曲順を変更できます。

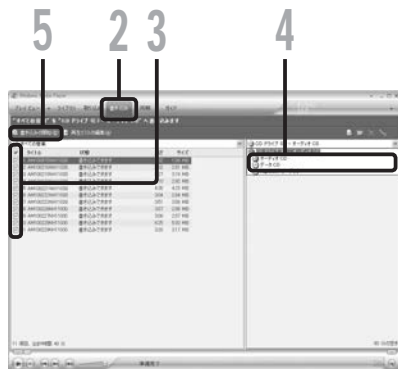
3 コピーしたいファイルにチェックをつける

4 ［**書き込みの開始**］をクリックする前に、CD 形式を選ぶ

［オーディオ CD］を選んだ場合：
CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：
録音したときのファイル形式でコピーします。

5 ［**書き込みの開始**］をクリックする

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、CD-R/RW へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。

iTunes を使う

iTunes を使用して、音楽CDや語学 CD からパソコンに取り込んだり (☞ P.99)、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルや語学コンテンツを本機に転送して再生できます (☞ P.101)。本機で録音したファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます (☞ P.102)。

ウィンドウのなまえ

① 機能タスクバー
② 巻き戻しボタン／
再生・一時停止ボタン／
早送りボタン
③ 音量スライダ
④ プレイリスト追加ボタン
⑤ ランダム再生ボタン
⑥ 連続再生ボタン
⑦ 表示切替ボタン
⑧ ディスク作成ボタン
⑨ Genius ボタン
⑩ Genius サイドバーボタン

CD から音楽をコピーする

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、iTunes を起動する

2 ［**iTunes**］➔［**環境設定**］をクリックする

3 ［**一般**］タグをクリックする

4 ［**読み込み設定**］をクリックする

5 パソコンにコピーするときのファイル形式やビットレートを設定したら［OK］をクリックする

［読み込み方法］：
CD の曲を読み込むときのファイル形式を設定します。本機で再生するには、必ず［**MP3 エンコーダ**］をお選びください（Mac OS の標準環境では、WMA 形式ファイルに変換できません）。

［設定］：
CD の曲を読み込むときのビットレートを設定します。

- 本機で再生可能な音楽ファイルは、「**音楽ファイルについて**」をご覧ください（☞ P.38）。

6 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

7 ［**読み込み**］をクリックする

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は［**CD から音楽をコピーする**］をご覧ください（☞ P.99）。

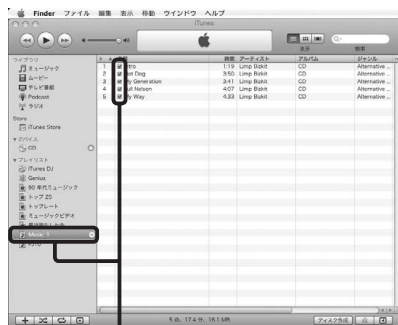
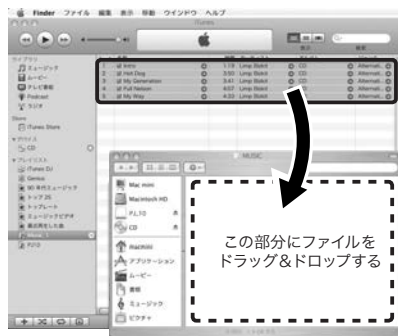
1 本機をパソコンに接続し、iTunes を起動する

2 本機に転送するプレイリストを選び、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

- 表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

3 本機に対応するドライブをダブルクリックし、［MUSIC］フォルダを開く

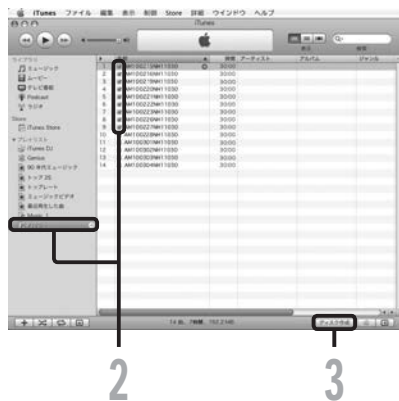
- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 音楽ファイルを転送する場合、本機の［**MUSIC**］フォルダにコピーをしてください。

4 本機に転送したいファイルを選び、［MUSIC］フォルダにドラッグ＆ドロップする

ファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は [**ファイルをパソコンに取り込む**] をご覧ください (☞ P.90)。

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、iTunes を起動する

2 CD-R/RW にコピーするプレイリストを選び、転送したいファイルにチェックをつける

3 [**ディスク作成**] をクリックする

4 CD-R/RW にコピーするときのディスク形式を設定したら [**ディスクを作成**] をクリックする

[オーディオ CD] を選んだ場合：
CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

[MP3 CD] を選んだ場合：
MP3 形式でコピーします。

[データ CD] を選んだ場合：
録音したときのファイル形式でコピーします。

パソコンの外部メモリとして使う

本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.88)

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 製品名のドライブをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.89)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.88)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.89)

ご注意

- 本機の［**AM**］、［**FM**］、［**TV**］、［**MIC**］、［**MUSIC**］や［**SYSTEM**］のデフォルトフォルダを削除しないでください。正常に動作しない場合があります。
- データ通信中は［**データを転送中です**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池を交換してください	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.13）。
ファイルがありません	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.41、P.42）。
ファイル件数がいっぱいです	フォルダ内のファイル件数が最大数（200）になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.46）。
総ファイル件数がいっぱいです	すべてのファイル件数の合計が最大数（2,000）になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.46）。
メモリがいっぱいです	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.46）。
これ以上記録できません（インデックスマークをつけるとき）	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください（☞ P.39）。
消去ロック中 消去できません	消去ロックがかかっているファイルを消去しようとした。	消去ロックを解除してください（☞ P.81、P.85）。
これ以上登録できません（放送局を登録するとき）	放送局リストの登録件数が最大数（20）になっている。	必要のない放送局の登録を消去してください（☞ P.68）。
既に登録されています	同じ放送局を登録しようとしている。	他の放送局を選び直してください（☞ P.64）。
AM 視聴中は FM 登録ができません	［**ラジオ局登録**］の設定で、現在の受信モードと異なる放送バンドを選んでいる。	［**ラジオ局登録**］の設定で、現在の受信モードと同じ放送バンドを選び直してください（☞ P.64）。
FM 視聴中は AM 登録ができません		
メモリに異常があります	メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください（☞ P.115）。
初期化に失敗しました	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください（☞ P.81、P.84）。
このファイルは再生できません	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルをご確認ください（☞ P.38）。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
表示画面に何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.13）。
	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.13）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.14）。
	AM ラジオ受信中に、［**AM画面表示**］の設定を［**OFF**］にしている。	AM ラジオ受信中に、表示画面を点灯させる場合、［**AM画面表示**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.78、P.80）。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.13）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.14）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.15）。
時計の時刻自動補正が働かない	NHK 第一放送が受信できていない。	窓際など受信状態の良い位置でご使用ください（☞ P.16）。
	NHK 第一放送を放送リストから消去している、またはAM放送局を自動登録していない。	AM放送局を自動登録し直してください（☞ P.67）。
	本機の時刻が現在の時刻と5分以上ずれている。	日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.81、P.82）。
登録済みの放送局を選んでも受信できない	ケーブルテレビ局などを経由してテレビを受信されていると放送局の周波数が通常と異なることがあります。ケーブルテレビ局などの放送波を使ってアンテナステーションで放送局を登録した場合、外出先でイヤホンや FM ケーブルアンテナから通常の放送波を受信すると、その登録した周波数を使って受信することができません。	アンテナステーションで放送局を登録したあとに、外出先で受信するための放送局を新たに追加してください。 本機の放送局リストには、FM ラジオ、テレビ局がそれぞれ最大 20 件まで登録が可能です（☞ P.64）。
予約した番組が録音できない	本機の時刻が現在の時刻と合っていない。	日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.81、P.82）。
	電波が弱くラジオの受信状態が良好ではない。	窓際など受信状態の良い位置で使用してください（☞ P.16）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.46）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.69、P.70）。
音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカで再生する場合、イヤホンを取り外してください。
	［**スピーカ出力**］の設定が［**OFF**］になっている。	内蔵スピーカで再生する場合、［**スピーカ出力**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.78、P.80）。
	受信周波数が合っていない。	登録した放送局リストから選ぶか、手動で周波数を合わせてください（☞ P.28、P.30）。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調整してください（☞ P.29）。

症状	考えられる原因	対処方法
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い。	マイク感度を［**会議**］にしてもう一度録音してください（☞ P.69、P.71）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
録音したファイルが ステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音音質**］の設定で、［**標準音質**］または［**長時間音質**］（いずれもモノラル録音形式）を選んでいる。	［**録音音質**］の設定で、［**高音質**］を選ぶと、ステレオ録音できます（☞ P.69、P.70）。
録音したファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.41、P.42）。
ノイズがする	録音中に本機をこすったりした。	―――――
	電波が弱く受信状態が良くない場所で放送番組を受信・録音した。	窓際など受信状態の良い位置でご使用ください（☞ P.16）。
	自動車が通る道路の近くなどで、放送番組を受信・録音した。	ＡＭラジオは特に周囲の状況により受信状態が左右されます。自動車やバイクのウィンカーやイグニッションなどで、ノイズが入ってしまう恐れがあります。
	テレビ、携帯電話や蛍光灯などの電化製品の近くで使用している。	電気製品から離れるか、これらの電源を切ってから使用してください。
ファイルが消去できない	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください（☞ P.81、P.85）。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルやサブフォルダがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください（☞ P.88）。
録音モニターでノイズが 聞こえる	ハウリングを起こしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングを起こす恐れがあります。録音モニターはイヤホンのご使用をおすすめします。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方向へ向けないなど調整をしてください。
インデックスマークが つけられない	マーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.39）。
転送したファイルが見えない	本機の最大保存件数の 2,000 件を超えている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.46）。

アクセサリー（別売）

オリンパス製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

単 4 形ニッケル水素充電池／充電器セット: BC400

ニッケル水素充電器 BU-400 と、単 4 形ニッケル水素充電池 BR401 の 4 本組セットです。オリンパス製の単 3、単 4 形ニッケル水素充電池を急速充電できます。

単 4 形ニッケル水素充電池：BR401

持続性に優れた高性能充電池です。

ステレオマイクロホン：ME51SW

大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W

周囲のノイズの影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

コンパクトズームマイクロホン：ME32

三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15

タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

AM ループアンテナ：AN1

微弱な遠距離 AM 局からの受信を補助します。ノイズに強い同軸ケーブル（5m）を採用。コンパクトな構造で設置・取り付けは簡単にできます。

テレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（ϕ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（ϕ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（ϕ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

用語の説明

用語	意味
インデックスマーク	ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WMA (Windows Media Audio)、MP3 (MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3) 形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォーマット	初期化とも言います。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための保管場所 (入れ物) です。
メモリ	内蔵フラッシュメモリのことを指します。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
BEEP (ビープ) 音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

主な仕様

一般事項

■ **記録形式：**
MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式
WMA（Windows Media Audio）形式

■ **規定入力レベル：**
－70 dBv

■ **サンプリング周波数：**

録音音質	ファイル形式	サンプリング周波数／ビットレート
［**高音質**］	MP3 形式	44.1 kHz、48 kHz*／128 kbps
［**標準音質**］	MP3 形式	44.1 kHz、48 kHz*／64 kbps
［**長時間音質**］	WMA 形式	44.1 kHz／32 kbps

* FM ラジオを録音する場合、ノイズの影響を避けるため、放送局によりサンプリング周波数が自動的に切り替わります。

■ **周波数特性：**
マイクジャック録音時：
［**高音質**］：100 Hz ～ 14 kHz
［**標準音質**］：100 Hz ～ 14 kHz
［**長時間音質**］：100 Hz ～ 14 kHz
内蔵ステレオマイク録音時：
300 Hz ～ 14 kHz
再生時：
20 Hz ～ 20 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
2.5 mW ＋ 2.5 mW（16 Ω負荷時）

■ **記録媒体：**
内蔵型 NAND FLASH メモリ
2 GB

■ **スピーカ：**
ϕ 28 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ **マイクジャック：**
ϕ 3.5 mm インピーダンス 2 kΩ

■ **イヤホンジャック：**
ϕ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
210 mW（スピーカ 8 Ω）

■ **電源：**
規定電圧：3 V
電　　池：単 4 形乾電池 2 本（LR03）
またはオリンパス製
ニッケル水素充電池 2 本

■ **外形寸法：**
103.8 mm × 55.5 mm × 19.1 mm
（最大突起部含まず）

■ **質量：**
95 g（電池含む）

■ **使用温度：**
0 ～ 42℃

■ **受信周波数：**
テレビ：1 ch ～ 12 ch
FM ラジオ：76.0 MHz ～ 90.0 MHz
AM ラジオ：531 kHz ～ 1,710 kHz

■ **同梱品：**
本体／アンテナステーション／AC アダプタ／AM ループアンテナ／FM ケーブルアンテナ／単 4 形乾電池 2 本／USB ケーブル／イヤホン／取扱説明書（保証書付）／かんたんガイド

録音時間（めやす）

■ **内蔵フラッシュメモリ（2 GB）：**

録音音質	時間
［**高音質**］（MP3 形式）	34 時間
［**標準音質**］（MP3 形式）	64 時間
［**長時間音質**］（WMA 形式）	135 時間

ご注意

・上記の値はあくまでめやすです。
・小刻みに録音を繰り返すと、録音可能時間がこれより短くなる恐れがあります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。

1 ファイルあたりの最長録音時間：

録音音質	時間
［**高音質**］（MP3 形式）	24 時間
［**標準音質**］（MP3 形式）	24 時間
［**長時間音質**］（WMA 形式）	24 時間

電池持続時間（めやす）

■ **プレイヤーモード：**

内蔵ステレオマイク録音時

録音音質	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
［**高音質**］（MP3 形式）	約 14 時間	約 13 時間
［**標準音質**］（MP3 形式）	約 19 時間	約 17 時間
［**長時間音質**］（WMA 形式）	約 21 時間	約 19 時間

MP3 形式［**高音質**］（128 kbps）
ファイル再生時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 26 時間	約 23 時間 30 分

WMA 形式［**長時間音質**］（32 kbps）
ファイル再生時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 16 時間 30 分	約 15 時間

■ **ラジオ・テレビ受信モード：**

AM ラジオ受信時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 21 時間 30 分	約 19 時間 30 分

FM ラジオ・テレビ受信時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 15 時間 30 分	約 14 時間

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きくかわります。

記録可能な曲数（めやす）

約 500 曲（128 kbps、1 曲 4 分換算）

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。

記録可能なファイル件数

最大保存ファイル件数　2,000 件
1 フォルダ内の最大保存ファイル件数　200 件

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

NHK 第一放送（周波数リスト）

地　方	都府県	地　域	周波数
北海道	札　幌	札幌	567 kHz
	函　館	函館	675 kHz
		江差	792 kHz
	旭　川	旭川	621 kHz
		遠別	792 kHz
		名寄	837 kHz
		稚内	927 kHz
	帯　広	帯広	603 kHz
	釧　路	釧路	585 kHz
	北　見	北見	1,188 kHz
		網走	1,188 kHz
	室　蘭	苫小牧	945 kHz
		室蘭	945 kHz
東　北	青　森	青森	963 kHz
		八戸	999 kHz
	岩　手	盛岡	531 kHz
		大船渡	576 kHz
	秋　田	秋田	1,503 kHz
	山　形	山形	540 kHz
		米沢	1,026 kHz
		鶴岡	1,368 kHz
	宮　城	仙台	891 kHz
	福　島	郡山	846 kHz
		会津若松	1,161 kHz
		福島	1,323 kHz
		いわき	1,341 kHz

地　方	都府県	地　域	周波数
関　東	栃　木	那須	594 kHz
		宇都宮	594 kHz
	茨　城	水戸	594 kHz
		土浦	594 kHz
	群　馬	前橋	594 kHz
	埼　玉	さいたま	594 kHz
	東　京	東京	594 kHz
	千　葉	千葉	594 kHz
	神奈川	横浜	594 kHz
	山　梨	甲府	927 kHz
		富士吉田	1,584 kHz
信越・北陸	新　潟	高田	792 kHz
		新潟	837 kHz
	長　野	松本	540 kHz
		飯田	621 kHz
		長野	819 kHz
		木曽福島	981 kHz
	富　山	富山	648 kHz
	石　川	七尾	540 kHz
		金沢	1,224 kHz
	福　井	福井	927 kHz
東　海	静　岡	浜松	576 kHz
		静岡	882 kHz
	岐　阜	岐阜	729 kHz
		高山	792 kHz
	愛　知	名古屋	729 kHz
	三　重	津	729 kHz
近　畿	京　都	舞鶴	585 kHz
		京都	621 kHz
	大　阪	大阪	666 kHz
	滋　賀	彦根	945 kHz
	奈　良	奈良	666 kHz
	和歌山	和歌山	666 kHz
	兵　庫	神戸	666 kHz

地　方	都府県	地　域	周波数
中　国	岡　山	岡山	603 kHz
		津山	927 kHz
		新見	1,341 kHz
	広　島	広島	1,071 kHz
		福山	999 kHz
		庄原	1,161 kHz
	鳥　取	米子	963 kHz
		鳥取	1,368 kHz
		松江	1,296 kHz
	山　口	岩国	585 kHz
		山口	675 kHz
		周南	675 kHz
		下関	1,026 kHz
		萩	963 kHz
四　国	愛　媛	新居浜	846 kHz
		宇和島	846 kHz
		松山	963 kHz
	徳　島	徳島	945 kHz
		池田	1,161 kHz
	香　川	高松	1,368 kHz
	高　知	高知	990 kHz
		中村	999 kHz

地　方	都府県	地　域	周波数
九州・沖縄	福　岡	北九州	540 kHz
		福岡	612 kHz
	佐　賀	佐賀	963 kHz
	長　崎	長崎	684 kHz
		福江	945 kHz
		佐世保	981 kHz
	大　分	大分	639 kHz
	熊　本	熊本	756 kHz
		人吉	846 kHz
		阿蘇	1,503 kHz
		水俣	1,341 kHz
	宮　崎	宮崎	540 kHz
		延岡	621 kHz
		小林	1,026 kHz
		日南	1,341 kHz
		高千穂	1,584 kHz
	鹿児島	鹿児島	576 kHz
		名瀬	792 kHz
		阿久根	1,026 kHz
		大口	1,503 kHz
	沖　縄	石垣	540 kHz
		那覇	549 kHz

索引

記号

数字

アルファベット

あ

い

お

か

け

こ

さ

し

す

せ

そ

ち

資料

6

索引

て

と

な

に

は

ひ

ふ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

ろ

アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品を安心してご愛用いただくために、当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/ の［ユーザー登録］をご利用ください。

● オリンパスホームページ

http://www.olympus.co.jp で関連製品の技術情報を提供しております。

● 製品に関するお問い合わせは

オリンパスカスタマーサポートセンター

Tel ： フリーダイヤル 0120 − 084215
携帯電話・PHS : 042 − 642 − 7499
Fax : 042 − 642 − 7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

● 修理に関するお問い合わせは

お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
なお、保証期間経過後の修理は有料となります。保証期間中でも運賃などの諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品をお送りいただく場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

国内オリンパス・サービスステーション所在地

東　京　オリンパスプラザ内
〒 101-0052　東京都千代田区神田小川町 1 の 3 の 1　NBF 小川町ビル
Tel :　03 − 3292 − 3403

札　幌　〒 060-0034　札幌市中央区北 4 条東 1 の 2 の 3　札幌フコク生命ビル
Tel :　011 − 222 − 2570

大　阪　〒 550-0011　大阪府大阪市西区阿波座 1 の 6 の 1　MID 西本町ビル
Tel :　06 − 6535 − 7980

福　岡　〒 810-0004　福岡市中央区渡辺通 3 の 6 の 11　福岡フコク生命ビル
Tel :　092 − 761 − 4469

修理に関するお問い合わせ、修理品ご送付先
オリンパス八王子修理センター
〒 192-8507　東京都八王子市石川町 2951
Tel :　042 − 642 − 2633
Fax :　042 − 642 − 7105

※記載内容は変更されることがあります。
※カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページの［お客様サポート］をご確認ください。

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって(問屋便以外を使用した場合)一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・そのほか、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ. 本書のご提示がない場合。
   - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1 年	無料	
品名	**Radio Server Pocket**	型名	**PJ-10**
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名	無効		